



Title	業績リスト(2004)
Author(s)	
Citation	大阪大学看護学雑誌. 2005, 11(1), p. 51-74
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/56703
rights	©大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

業績リスト(2004)

看護実践開発科学講座

I 論文

1. 学術論文

- 1) Nishiike S, Ogino S, Irfune M, Arimoto H, Sakaguchi Y, Takeda M, Baba K, Miyake Y, Harada T. Measurement of quality of life during different clinical phases of Japanese cedar pollinosis. *Auria Nasus Larynx* 2004; 31:135-139
 - 2) Miyazaki Y, Okumiya A. Prediction of Obesity in Down Syndrome, Individuals Using BMI and Blood Pressure Records. *Journal of Physical Therapy Science* 2004; 16(1) : 65-71
 - 3) Kanzaki H, Makimoto K, Takemura K, Ashida N. Development of web-based qualitative and quantitative data collection systems: Study on daily symptoms and coping strategies among Japanese rheumatoid arthritis patients. *Nurs Health Sci* 2004; 6:229-36
 - 4) 荻野敏、他 46 名 スギ花粉症に対する塩酸セチリジン初期投与による有効性(第三報) SF-36 による PCS/MCS の検討 耳鼻 2004 年 50 卷 28-36 頁
 - 5) 角谷千恵子、荻野敏、入船盛弘、菊守寛、瀬尾律、竹田真理子、玉城晶子、馬場謙治、嶽良博、池田浩巳、榎本雅夫 スギ花粉症におけるアウトカム研究(第1報) 花粉飛散期と非飛散期の支払意思の比較アレルギー 2004 年 53 卷 589-595 頁
 - 6) 角谷千恵子、荻野敏、嶽良博、池田浩巳、榎本雅夫スギ花粉症におけるアウトカム研究(第2報) スギ花粉症初期療法効果に対する服薬状況の影響アレルギー 2004 年 53 卷 669-675 頁
 - 7) 有本啓恵、東直人、片田圭宣、佐野由紀子、荻野敏スギ・ヒノキ科花粉症患者セルフケアの実態 アンケート調査より アレルギー 2004 年 53 卷 676-682 頁
 - 8) 木村淑美、有本啓恵、藤井可絵、入船盛弘、佐野由紀子、荻野敏 河内長野市における花粉飛散と気象状況 耳鼻臨床 2004 年 97 卷 741-747 頁
 - 9) 荻野敏、他 46 名 スギ花粉症に対する塩酸セチリジン初期投与による有効性(第四報) 多断層別分析による検討 耳鼻 2004 年 50 卷 361-368 頁
 - 10) 本田育美、田中マキ子、小平京子、成田伸、木村義、奥宮暁子、城戸良弘、江川隆子 看護診断「足の皮膚統合性障害リスク状態」の同定に関する研究－糖尿病患者を対象とした危険因子の検討－ 看護診断 2004 年 9 卷 1 号 6-15 頁
 - 11) 本田育美、神谷千鶴、大徳真珠子、新谷恵子、栗原宏子、南茂孝生、佐藤智巳、奥宮暁子、宮川潤一郎、江川隆子 Semmes-Weinstein Monofilament を用いた糖尿病性神経障害の評価と有用性－測定部位と判定法の検討から－ 糖尿病 2004 年 47 卷 3 号 239-245 頁
 - 12) 奥宮暁子 知的障害者施設における肥満症の現況－脂肪分布とくに内臓脂肪量評価の重要性－ 肥満研究－ 2004 年 10 卷 2 号 177-182 頁
 - 13) 片嶋充弘、恩田智彦、山口亨、梁美和、前田和久、奥宮暁子、西田誠、中村正、松澤佑次 腹部生体インピーダンス法を用いた内臓脂肪量測定器の開発－測定原理の検証－ 健康医学 2004 年 19 卷 3 号 7-12 頁
 - 14) 高橋知子、鈴木純恵 わが国の ICU 看護にみられる呼吸理学療法手技を活用した呼吸管理に関する研究の現状 1999 年から 2003 年の日本集中治療医学会総会プログラムより 茨城県立医療大学紀要 2004 年 9 卷 37-47 頁
 - 15) 鈴木純恵、丹下幸子、細矢智子、土屋陽子、市村久美子、金子昌子、堀内ふき、黒木淳子 成人・老人看護学実習における学生の学び－リハビリテーション看護領域の実習感想文より－ 茨城県立医療大学紀要 2004 年 9 卷 119-131 頁
2. 会議録
- 1) Ogino S. Allergic rhinitis and antihistamin-From the viewpoint of QOL. Methods and Findings in Experi Clin Pharmacology, 2004; 26 (Suppl. 2) :53-54
 - 2) Yagura H, Tonoike M, Yamaguchi M, Nakagawa S, Sitani K, Ogino S. MEG measurement of event-related brain activity evoked by emotional prosody recognition, Proceedings of the 14th International Conference on Biomagnetism, 2004 ; 555-556
 - 3) Makimoto K. Women's health issues in Japan:

- Western influence on mind and body of Japanese women. Proceeding of the 6th Nursing Academic International Congress on Mind and Body, Seoul, Korea 2004;61-62
- 4) Ashida N, Kanzaki K, Takemura T, Makimoto K. Development of Tele-care Symptom Management Support System for the Rheumatoid Arthritis, 2, APT Telemedicine Workshop, 2004;190-193
 - 5) 荻野敏 スギ花粉症に対する抗 IgE 抗体療法 東海花粉症研究会誌 2004 年 15 卷 2 号 33-36 頁
 - 6) 荻野敏 花粉症患者の望む治療薬とは? (花粉症治療薬に対する満足度調査: 街頭インタビューによる) 耳鼻免疫アレルギー 2004 年 22 卷 2 号 94-95 頁
 - 7) 門田亜矢、浦梨枝子、荻野敏 アレルギー性鼻炎患者における Utility(効用): QOL(EQ5D) を用いての検討 耳鼻免疫アレルギー 2004 年 22 卷 2 号 96-97 頁
 - 8) 角谷千恵子、荻野敏、榎本雅夫 スギ花粉症初期療法効果への服薬状況の影響 耳鼻免疫アレルギー 2004 年 22 卷 2 号 126-128 頁
 - 9) 池田七衣、吉場暁子、荻野敏 スギ花粉飛散量の変動に伴うスギ特異的 IgE 抗体価の年次変化 耳鼻免疫アレルギー 2004 年 22 卷 2 号 128-129 頁
 - 10) 矢倉晴子、外池光雄、山口雅彦、中川誠司、須谷康一、荻野敏 情緒的プロソディ認知における MEG 信号の計測 日本生体磁気学会誌 2004 年 17 卷 1 号 112-113 頁
 - 11) 大橋敬子、國生拓子 地域で生活する精神障害者の日常生活実態についての一考察 第 35 回日本看護学会抄録集 -精神看護- 2004 年 35 卷 23 頁

3. 研究報告

- 1) 大橋ゆり子、錦織正子、鈴木純恵、永田博司、落合幸子 公開講座「青年の性と生」での世代間交流の可能性 茨城県立医療大学紀要 2004 年 9 卷 219-225 頁
- 2) 鈴木純恵 精神機能障害を伴う脳血管障害患者の行動科学的学習方法の開発 科学研究補助金 萌芽研究 2001-2003 年

4. 大学・研究所等の報告

- 1) 紙野雪香 臨地実習における指導方法に関する一考察 -死と向き合う患者を受け持った学生の変容体験に焦点を当てて- 大阪大学看護学雑誌 2004 年 10 卷 1 号 57-64 頁

5. 解説・総説

- 1) 荻野敏 菊守寛 馬場謙治 花粉症治療の QOL による評価 臨床と薬物治療 2004 年 23 卷 36-39 頁
- 2) 荻野敏 抗 IgE 抗体 (Omalizumab) 療法 Topics in Atopy 2004 年 3 卷 4 号 48-49 頁
- 3) 長野拓三、福嶽恵子、荻野敏 アトピー性皮膚炎における QOL 特にうつ状態との関係について アレルギーの臨床 2004 年 24 卷 69-74 頁
- 4) 荻野敏、菊守寛、馬場謙治 花粉症治療の QOL による評価 臨床と薬物治療 2004 年 23 卷 36-39 頁
- 5) 荻野敏、竹田真理子、有本啓恵 アトピー性皮膚炎と花粉症の合併 からだの科学 2004 年 235 号 56-57 頁
- 6) 荻野敏 環境因子からみた治療のポイント、アレルギー性鼻炎 CLINICIAN 2004 年 51 号 150-153 頁
- 7) 荻野敏 花粉症診断の注意点 Animus 2004 年 34 号 18-21 頁
- 8) 荻野敏 鼻アレルギーの薬物治療 鼻アレルギーフロンティア 2004 年 4 号 2 卷 24-27 頁
- 9) 荻野敏、瀬尾律 鼻アレルギーと副鼻腔炎; アスピリン喘息の診断と管理 耳喉頭頸 2004 年 76 卷 107-111 頁
- 10) 荻野敏 スギ花粉症に対する抗 IgE 療法 感染・炎症・免疫 2004 年 34 号 2 卷 143-145 頁
- 11) 荻野敏 アスピリン喘息の発症メカニズムと上気道病態の治療 アレルギー科 2004 年 18 卷 41-45 頁
- 12) 荻野敏 入船盛弘、馬場謙治、菊守寛 疾患特異的 QOL 調査票によるアレルギー性鼻炎の評価 アレルギーの臨床 2004 年 24 卷 842-845 頁
- 13) 角谷千恵子、荻野敏、宮武明彦、谷口正実、三代康雄 気管支喘息患者における聴力障害 アレルギーの臨床 2004 年 24 卷 75-79 頁
- 14) 荻野敏 昆虫アレルギー; アレルギー相談室 Q&A アレルギーの臨床 2004 年 24 卷 564 頁
- 15) 荻野敏 学会印象記 第 23 回欧州アレルギー臨床免疫学会議(EAACI) アレルギー・免疫 2004 年 11 卷 1380-1381 頁
- 16) 荻野敏 コラム「花粉症患者の QOL」今月の治療 2004 年 12 卷 12 号 1250 頁
- 17) 荻野敏 おくすり説明術「アレルギー性鼻炎」 医薬品情報 BOX 2004 年秋号 38-39 頁
- 18) 荻野敏、榎本雅夫 対談「日常診療におけるアレルギー性気道疾患の考え方 第 3 回 QOL を踏まえた初期治療」 Prog. Med 2004 年 24 間 2731-2737 頁

- 19) 荻野敏、川内秀之、原田保 座談会「QOL からみた花粉症初期療法の有用性」 Pharma Medica 2004 年 22 卷 12 号 69-77 頁

6. その他

II 著書

1. 一般著書

2. 専門著書

- 1) 荻野敏 アレルギー検査 エクセルナース[検査編] 松岡緑、他編 2004 年 416-417 頁 メディカルレビュー社
- 2) 江本愛子、安が平伸枝、鈴木純恵 活動と休息 2004 年 講談社
- 3) 内田雅子 ヴァージニア・ヘンダーソン やさしく学ぶ看護理論改訂版 黒田裕子編 2004 年 日経研

3. 教科書

- 1) 奥宮暁子 リハビリテーションの対象者の特徴 障害の概念 成人看護学 D リハビリテーション患者の看護(第2版) 氏家幸子監修 2004 年 9-18 頁 廣川書店
- 2) 奥宮暁子 二次障害の予防 成人看護学 D リハビリテーション患者の看護(第2版) 氏家幸子監修 2004 年 39-45 頁 廣川書店
- 3) 安酸史子、鈴木純恵、吉田澄恵 ナーシンググラフィカ 22 成人看護学 成人看護学概論 2004 年 メディカ出版

III 招聘講演・シンポジウム等

1. 国際学会

- 1) Makimoto M. Women's health issues in Japan: Western influence on mind and body of Japanese women. The 6th Nursing Academic International Congress on Mind and Body. June 24-25. 2004, Seoul, Korea

2. 国内学会

- 1) 荻野敏 招聘講演 アレルギー疾患・花粉症 守口市医師会学術講演会. 2004 年 12 月、守口市
- 2) 荻野敏 招聘講演 アレルギー性鼻炎と QOL および治療との関連 第 75 回札幌市耳鼻咽喉科医会学術研修会. 2004 年 1 月、札幌市
- 3) 荻野敏 招聘講演 スギ花粉症と QOL 広島県耳鼻咽喉科医会学術講演会. 2004 年 1 月、広島市
- 4) 荻野敏 招聘講演 スギ花粉症と QOL 第 15 回岡山耳鼻咽喉科感染免疫研究会. 2004 年 2 月、岡山市
- 5) 荻野敏 招聘講演 花粉症に対する第 2 世代抗ヒス

タミン薬の使い方(耳鼻科の立場から) 第 2 回 Interactive Symposium 「花粉症の診断と治療」. 2004 年 2 月、大阪市

- 6) 荻野敏 招聘講演 アレルギー性鼻炎の QOL と医療経済的検討 日本耳鼻咽喉科学会山梨県地方部会研修会. 2004 年 2 月、甲府市
- 7) 荻野敏 招聘講演 アレルギー性鼻炎の QOL および医療経済的検討 第 63 回日本耳鼻咽喉科島根県地方部会学術講演会. 2004 年 2 月、松江市
- 8) 荻野敏 招聘講演 耳鼻咽喉科から見たアスピリン喘息 第 22 回大分耳鼻咽喉科臨床研究会. 2004 年 2 月、大分市
- 9) 荻野敏 招聘講演 一般開業医における小児アレルギー性鼻炎の実態 第 3 回北摂地区開業医臨床研究会(耳鼻咽喉科). 2004 年 3 月、大阪市
- 10) 荻野敏 ランチョンセミナー スギ花粉症の病態と治療における抗ヒスタミン薬の位置づけ 第 77 回日本薬理学会. 2004 年 3 月、大阪市
- 11) 荻野敏 招聘講演 スギ花粉症における抗 IgE 抗体療法 第 10 回香川アレルギー研究会. 2004 年 5 月、高松市
- 12) 榎本雅夫、荻野敏、角谷千恵子 イブニングシンポジウム 11 近年のスギ花粉症の実態と予防対策: 初期治療による花粉症予防対策 第 16 回日本アレルギー学会春季臨床大会. 2004 年 5 月、前橋市
- 13) 荻野敏 招聘講演 アレルギー性鼻炎と QOL および治療との関連 第 209 回北九州耳鼻咽喉科臨床懇話会. 2004 年 6 月、北九州市
- 14) 荻野敏 招聘講演 スギ花粉症に対する抗 IgE 抗体療法 30 回東海花粉症研究会. 2004 年 6 月、名古屋市
- 15) 荻野敏 招聘講演 スギ花粉症の QOL と医療経済 第 35 回和歌山・泉南花粉研究会. 2004 年 7 月、和歌山市
- 16) 荻野敏 招聘講演 耳鼻科領域における漢方療法 第 20 回伊豆耳鼻科記念懇話会. 2004 年 7 月、熱海市
- 17) 荻野敏 招聘講演 抗 IgE 抗体療法 第 4 回アレルギー性鼻炎治療研究会セミナー. 2004 年 10 月、東京都
- 18) 荻野敏 招聘講演 鼻アレルギーと QOL 日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会学術集会. 2004 年 11 月、横浜市
- 19) 荻野敏 シンポジウム「ARIA 関連シンポジウム」; アスピリン喘息と鼻茸の関連について 第 54 回日本アレルギー学会総会. 2004 年 11 月、横浜市

IV 学会一般演題

1.国際学会

- 1) Ogino S, Takeda N, Harada T. The effect of cetirizine prophylactic treatment for quality of life in patients with Japanese cedar pollinosis. Analysis with automatic interaction detector, A 23th Congress of the European Academy of Allergology and Clinical Immunology (EAACI 2004), June. 2004, Amsterdam, Netherland
- 2) Kakutani C, Ogino S, Enomoto T. Comparison of clinical efficacy and cost-quality of antihistamines in early treatment for cedar pollinosis, 23th Congress of the European Academy of Allergology and Clinical Immunology (EAACI 2004), June. 2004, Amsterdam, Netherland
- 3) Yagura H, Tonoike M, Yamaguchi M, Nakagawa S, Sitani K, Ogino S. MEG measurement of event-related brain activity evoked by emotional prosody recognition, The 14th International Conference on Biomagnetism(BIOMAG 2004), August. 2004, Boston, USA
- 4) Yagura H, Tonoike M, Nakagawa S, Kobayashi Y, Ogino S. Cortical activities of emotional prosody recognition: A MEG study The 8th International Evoked potential Symposium, October. 2004, Fukuoka, Japan
- 5) Nakamura M, Kido Y. Nursing assignment for gastrointestinal symptoms of post-gastrectomy patients in Japan. 5th International Nursing Research Conference, 2004, Koriyama Fukushima, Japan
- 6) Fujita K, Makimoto K, Hotokebuchi T, Ikeda T. The Factors Related to Quality of Life among Japanese Patients Undergoing Total Hip Arthroplasty (THA): The 7th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) meeting, March. 2004, Hong Kong, China
- 7) Kanzaki H, Makimoto K, Ashida N, Takemura T. Development and implementation of qualitative and quantitative data collection systems using the internet for an examination of patterns of daily symptoms and coping strategies by female RA patients in Japan. The 8th East Asia Forum of Nursing Scholars (EAFONS), March. 2004, Hong Kong, China
- 8) Seiko H, Makimoto K. Upper body vs. lower body

forced-air warming during prolonged abdominal surgery. AORN 51st Congress, March-25. 2004, San Diego

- 9) Nozaki C, Makimoto K, Kawamura Y, Motoda S. Methods for investigating nursing errors : A review of the literature. The 7th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) meeting, March. 2004, Hong Kong, China
- 10) Ashida N, Kanzaki K, Takemura T, Makimoto K. Development of Tele-care Symptom Management Support System for the Rheumatoid Arthritis, 2, APT Telemedicine Workshop, 2004

2.国内学会

- 1) 荻野敏 花粉症患者の望む治療薬とは? (花粉症治療薬に対する満足度調査: 街頭インタビューによる) 第 22 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会. 2004 年 3 月、札幌市
- 2) 門田亜矢、浦梨枝子、荻野敏 アレルギー性鼻炎患者における Utility(効用) : QOL(EQ5D) を用いての検討 第 22 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会. 2004 年 3 月、札幌市
- 3) 角谷千恵子、荻野敏、榎本雅夫 スギ花粉症初期療法効果への服薬状況の影響 第 22 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会. 2004 年 3 月、札幌市
- 4) 池田七衣、吉場暁子、荻野敏 スギ花粉飛散量の変動に伴うスギ特異的 IgE 抗体価の年次変化 第 22 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会. 2004 年 3 月、札幌市
- 5) 泉憲政、角谷千恵子、荻野敏、福井裕行 VAS を用いた各種ヒスタミンH1拮抗薬の効果および副作用による比較 日本薬学会第 124 年会. 2004 年 3 月、大阪市
- 6) 角谷千恵子、荻野敏、池田浩巳、嶽良博、榎本雅夫 スギ花粉症初期療法効果への服薬状況の影響 第 53 回臨床アレルギー研究会(関西). 2004 年 5 月、大阪市
- 7) 荻野敏 花粉症治療薬に対する満足度調査; 街頭インタビューによる 第 16 回日本アレルギー学会春季臨床大会. 2004 年 5 月、前橋市
- 8) 角谷千恵子、荻野敏、池田浩巳、嶽良博、榎本雅夫 スギ花粉症における Outcome 研究(第 2 報) 初期療法の実態と QOL の地域間比較 第 16 回日本アレルギー学会春季臨床大会. 2004 年 5 月、前橋市
- 9) 角谷千恵子、荻野敏、池田浩巳、嶽良博、榎本雅夫

- スギ花粉症における Outcome 研究（第 3 報）スギ花粉症状の日常生活への影響 第 16 回日本アレルギー学会春季臨床大会. 2004 年 5 月、前橋市
- 10) 荻野敏 Web site を用いたスギ花粉症患者の受信状況の検討 第 105 回日本耳鼻咽喉科学会総会. 2004 年 5 月、広島市
 - 11) 矢倉晴子、外池光雄、山口雅彦、中川誠司、須谷康一、荻野敏 情緒的プロソディ認知における MEG 信号の計測 第 19 回日本生体磁気学会. 2004 年 6 月、徳島市
 - 12) 荻野敏 シンポジウム「鼻アレルギーと QOL」各論『SF-36 を用いた鼻アレルギー QOL について』 第 9 回鼻アレルギー治療研究会. 2004 年 7 月、豊中市
 - 13) 中川智子、荻野敏、近藤幸子、丸山一伸、金田重人 通年性および季節性アレルギー性鼻炎の診断における特異的 IgE 抗体価、誘発テストの関係について 第 25 回日本臨床薬理学会. 2004 年 9 月、静岡市
 - 14) 荻野敏 VAS を用いた抗ヒスタミン薬の効果および副作用の比較 第 43 回日本鼻科学会総会. 2004 年 9 月、東京
 - 15) 矢倉晴子 外池光雄 中川誠司 小林葉子 荻野敏 「喜び」「悲しみ」「通常」の感情的音声に対する脳の反応の測定—MEG 信号測定による検討 第 28 回日本神経心理学会総会. 2004 年 9 月、広島市
 - 16) 荻野敏 十全大補湯が有効であった習慣性舌根扁桃炎の 1 症例 第 20 回日本耳鼻咽喉科漢方研究会. 2004 年 10 月、東京
 - 17) 荻野敏、角谷千恵子、池田浩巳、嶽良博、榎本雅夫 スギ花粉症初期療法としてのロラタジン+吸入ステロイド併用療法の有効性 第 54 回日本アレルギー学会総会. 2004 年 11 月、横浜市
 - 18) 竹田真理子、荻野敏、入船盛弘、原田保、小笠原圭子、片岡真吾、川内秀之 JRQLQ を用いたスギ花粉症に対するエバスチン初期投与の有効性に関する検討 第 54 回日本アレルギー学会総会. 2004 年 11 月、横浜市
 - 19) 荻野敏、福井裕行 VAS を用いた抗ヒスタミン薬の効果および副作用の比較 第 54 回日本アレルギー学会総会. 2004 年 11 月、横浜市
 - 20) 池田七衣、荻野敏、有本啓恵、岩田伸子 Web site における花粉症情報提供(第 3 報)—地域と初期治療 第 54 回日本アレルギー学会総会. 2004 年 11 月、横浜市
 - 21) 門田亜矢、荻野敏、瀬尾律、菊守寛、馬場謙治、玉城晶子 一般開業医における小児アレルギー性鼻炎の実態 第 54 回日本アレルギー学会総会. 2004 年 11 月、横浜市
 - 22) 矢倉晴子、外池光雄、中川誠司、小林葉子、荻野敏 情緒的プロソディ認知に関する MEG 信号測定 第 19 回生体・生理工学シンポジウム. 2004 年 11 月、大阪市
 - 23) 田口豊恵、城戸良弘、妙中信之、西村信哉、井口直也、鹿島泰子 サーカディアンリズムを考慮した術後のブライトケアの有効性 第 49 回日本集中治療医学会近畿地方会. 2004 年、大津
 - 24) 田口豊恵、城戸良弘、矢野雅彦、安田卓司、宮田博志、森田輝代、門田守人 食道癌術後患者に対するブライトケアの効果 第 41 回日本外科代謝栄養学会. 2004 年、松山
 - 25) 片嶋充弘、恩田智彦、山口亨、梁美和、中村正、前田和久、下村伊一郎、奥宮暁子、松澤佑次 腹部生体インピーダンス法を用いた実用的内臓脂肪測定器の開発 5 皮下脂肪量の影響 第 45 回人間ドック学会. 2004 年 8 月、名古屋市
 - 26) 梁美和、中村正、前田和久、岸田健、下村伊一郎、奥宮暁子、松澤佑次、片嶋充弘、恩田智彦 腹部生体インピーダンス法を用いた実用的内臓脂肪測定器の開発 6 メタボリックシンドロームの診断・減量効果評価 第 45 回人間ドック学会. 2004 年 8 月、名古屋市
 - 27) 奥宮暁子、中村正、恩田智彦、片嶋充弘、松澤佑次 知的障害者における肥満症の実態—内臓脂肪量評価の重要性— 第 45 回人間ドック学会. 2004 年 8 月、名古屋市
 - 28) 奥宮暁子、中村正、梁美和、前田和久、下村伊一郎、恩田智彦、松澤佑次 知的障害福祉施設利用者の肥満に関する研究(第二報)—内臓脂肪量評価— 第 25 回日本肥満学会. 2004 年 9 月、大阪市
 - 29) 恩田智彦、梁美和、前田和久、中村正、下村伊一郎、奥宮暁子、松澤佑次 腹部生体インピーダンス法を用いた内臓脂肪測定器開発 5 皮下脂肪量の影響 第 25 回日本肥満学会. 2004 年 9 月、大阪市
 - 30) 梁美和、恩田智彦、山口亨、中村正、前田和久、下村伊一郎、奥宮暁子、松澤佑次 腹部インピーダンス法を用いた内臓脂肪測定器の開発 6 メタボリックシンドロームの診断・減量評価 第 25 回日本肥満学会. 2004 年 9 月、大阪市

- 31) 牧本清子、芦田伸介、関川暁 英語版と日本語版の院内感染アウトブレイク調査データベースの開発 第11回ヘルスリサーチフォーラム。2004年11月、東京都
- 32) 藤田君支、牧本清子、佐藤和子 人工関節置換術を受けた患者の手術前後のQOL 第24回日本看護科学会学術集会。2004年12月、東京都
- 33) 金子昌子、黒木淳子、鈴木純恵、丹下幸子、市村久美子 終末期看護実習における学生の学び－感想文の内容分析を通して－ 日本看護学教育学会第14回学術集会。2004年7月
- 34) 津山享子、鈴木純恵、黒木淳子、市村久美子他 術後疼痛緩和におけるリラクセーション法の有効性に関する研究 第23回日本看護科学会学術集会。2004年12月
- 35) 北畠由喜、刀谷峰子、寺師榮、河村葉子 三次救命救急センターにおける救急看護師の Secondary Traumatic Stress (STS) の検討 精神看護 第35回日本看護学会。2004年7月
- 36) 許田志津子、河村葉子、野崎智恵子、牧本清子 看護事故の分類方法に関する文献レビュー 第24回日本看護科学会学術集会。2004年12月、東京都
- 37) 瓜崎貴雄、京極多歌子、寺師榮、河村葉子 救急看護師のストレス対処法－自律訓練法の効果－ 第6回日本救急看護学会。2004年9月
- 38) 安本友子、京極多歌子、寺師榮、河村葉子 除細動施行に対する看護師の認識調査 第6回日本救急看護学会。2004年9月
- 39) 牧本清子、芦田伸介、関川暁 ハイテク機器による痴呆性高齢者の行動パターンモニター方法の開発と徘徊危険因子の解明、牧本清子、鈴木みづえ、密山幸男、泉キヨ子、芦田信之、三菱財団社会福祉助成金、2004年
- 40) 看護学生の職業的アイデンティティの形成と教育に関する研究、落合幸子（茨城県立医療大学）、鈴木純恵、紙野雪香他、外部資金（茨城県立医療大学学内プロジェクト研究）、2004年
- 41) 核医学のリハビリテーション医療への利用に関する研究、石川演美（茨城県立医療大学）、金子昌子（茨城県立医療大学）、鈴木純恵他、外部資金（茨城県立医療大学学内プロジェクト研究）、2004年

生命育成看護科学講座

I 論文

1. 学術論文

- 1) Nakajima Y, Yamaji K, Ohashi K. Fetal heart rate and uterine contraction during automobile driving. *J Obstet Gynecol Res* 2004;30:15-19
- 2) Yamamoto K, Izumi R, Hasegawa K, Nakajima H, Ohashi K, Kudo R, Okuda H, Takahashi T, Origasa H, Sugimori H. Adjuvant oral 5-fluorouracil for cervical cancer: Japanese Gynecologic Oncology Group Report. *Int J Oncol* 2004;24:1175-1179
- 3) 松下敦、和佐勝史、内山里美、曹英樹、清水義之、高木洋治、福澤正洋、山東勤弥 マンガン $1\mu\text{mol}$ を含む微量元素製剤を長期投与後の血中微量元素の濃度の検討 静脈経腸栄養 2004年19巻2号45-48頁
- 4) 吹田麻耶、高木洋治 在宅静脈栄養法施行患者の quality of life に関する要因の分析 日本看護研究会誌 2004年27巻1号107-113頁
- 5) 仁尾かおり、藤原千恵子 先天性心疾患をもつ思春期の子どものコーピング 第34回日本看護学会論文集－小児看護－ 2004年65-67頁
- 6) 文字智子、高田一美、石見和世、仁尾かおり、高谷裕紀子、河上智香、藤原千恵子 小児専門病院における看護師の職務ストレス研究 第34回日本看護学会論文集－小児看護－ 2004年141-143頁
- 7) 藤原千恵子 入院中の病児家族コーピングに関する研究－疾患および入院期間による差異－ 第34回日本看護学会論文集－小児看護－ 2004年147-149頁

V 受賞

- 1) Research/evidence-based practice poster display sessions 1 and 2 Research poster award of merit, Upper body vs. lower body forced-air warming during prolonged abdominal surgery, Seiko H, Makimoto K. March-25. 2004, San Diego, AORN 51st Congress.

VI 特許

VII 共同研究・外部資金

- 1) リハビリテーション専門看護師養成カリキュラムの開発、宮腰由紀子、奥宮暁子、泉キヨ子、石鍋圭子、野々村典子、大原良子、川崎裕美、藤井宝恵、科学研究費基盤研究(B) (2)、2003-2004年

- 8) 藤原千恵子 入院中の小児がんの子どもをもつ母親のコーピングと状況要因および心理的ストレス反応との関連 日本小児看護学会誌 2004年13巻1号 40-45頁
- 9) 仁尾かおり、藤原千恵子 先天性心疾患をもつ思春期の子どもの母親の思いと配慮 日本小児看護学会誌 2004年13巻2号 26-32頁
- 10) 高谷裕紀子、高城美圭、高城智圭、流郷千幸、宮内環 藤原千恵子 小児の看護師ストレッサー尺度の作成とその信頼性・妥当性の検討 小児保健研究 2004年63巻6号 741-728頁
- 11) 河上智香、西村明子、藤原千恵子、石井京子、仁尾かおり、高谷裕紀子、星和美、彦惣美穂、林田麗、石見和世、古賀智影 看護系大学卒業看護師の属性によるキャリア認知の差異 第34回日本看護学会論文集 一看護総合一 2004年63-65頁
- 12) 河上智香、藤原千恵子、上野恵美子、谷口佳生理 4年制看護系大学の学生が持つ子どものイメージ構造 第34回日本看護協会論文集 一看護教育一 2004年 103-105頁
- 13) 林田麗、河上智香、西村明子、藤原千恵子、石井京子、仁尾かおり、高谷裕紀子、星和美、彦惣美穂、石見和世、古賀智影 看護経験 3年未満の大学卒業看護師のキャリア認知と職務ストレスの関係 第34回日本看護協会論文集 一看護教育一 2004年 148-150頁
- 14) 沖永剛、永井利三郎 特集 脳炎 脳症 髄膜炎 <病態的理解から診断へ> 多発性硬化症 小児内科 2004年36巻7号 1150-1153頁
- 15) 永井利三郎 《講座》 障害児の子育て支援—障害の受容と家族へのかかわり(1) 育成 2004年367号
- 16) 永井利三郎 《講座》 障害児の子育て支援—障害の受容と家族へのかかわり(2) 育成 2004年368号
- 17) 永井利三郎 《講座》 障害児の子育て支援—障害の受容と家族へのかかわり(3) 育成 2004年369号
- 18) 永井利三郎 《講座》 障害児の子育て支援—障害の受容と家族へのかかわり(4) 育成 2004年370号
- 19) 永井利三郎 《講座》 障害児の子育て支援—障害の受容と家族へのかかわり(5) 育成 2004年371号
- 20) 永井利三郎 《講座》 障害児の子育て支援—障害の受容と家族へのかかわり(6) 育成 2004年372号
- 21) 田辺卓也 乳児重症ミオクロニーテンカん(SME I)症例のワクチン接種状況調査 脳と発達 2004 年 36 号 318-323 頁
- 22) 今井克美、沖永剛志、神尾範子、青天目信、永井利三郎 目から学ぶ脳波 小児疾患と脳波 小児における大脳皮質形成異常の脳波：臨床脳波(0485-1447) 2004年46巻5号 298-305頁
- 23) 葉久真理、大橋一友 オレムの依存的ケアモデルを適用した母乳哺育継続制限要因の探求 日本助産学会誌 2004年4巻1号 15-22頁
- 24) 井関敦子、内藤直子、大橋一友 出産方法に対する在日ブラジル人妊婦の認識 香川母性衛生学会誌 2004年4巻1号 15-22頁
- 25) 松森直美、二宮啓子、蝦名美智子、片田範子、勝田仁美、笛木忍、松林知美、小迫幸恵、中野綾美、筒井真優美、飯村直子、江本リナ、鈴木敦子、樋木野裕美、高橋清子、来生奈巳子、福地麻貴子 「検査・処置を受ける子どもへの説明と納得」に関するケアモデルの実践と評価(その2) —子どもの力を引き出す関わりと具体的な看護の技術について— 看護科学学会誌 (印刷中) 2004年

2.会議録

- 1) 沖永剛志、青天目信、神尾範子、下野久理子、柳原恵子、今井克美、永井利三郎、大薗恵一 小児期発症のFisher症候群に対する免疫グロブリン療法の検討 脳と発達 2004年36巻Suppl.S 312頁
- 2) 柳原恵子、荒井洋、西本潤史、大谷和正、沖永剛志、永井利三郎、今井克美 良性乳児けいれんの発作群発時には少量カルバマゼピン内服が有効である 脳と発達 2004年36巻Suppl.S 301頁
- 3) 神尾範子、沖永剛志、青天目信、下野九理子、今井克美、永井利三郎、大薗恵一 1p36欠失症候群3例にみられたてんかんの検討 脳と発達(0029-0831) 2004年36巻Suppl.S 299頁
- 4) 小野寺隆、真野利之、今井克美、永井利三郎、佐藤健二 A群色素性乾皮症患者の神経症状の経過と福祉援助への要望に関するアンケート調査 脳と発達 2004年36巻Suppl.S 272頁
- 5) 青天目信、大幡泰久、神尾範子、下野九理子、沖永剛志、今井克美、永井利三郎、大薗恵一 小脳失調が中核症状となった若年型歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症(DRPLA)の2例 脳と発達(0029-0831) 2004年36巻Suppl.S 271頁
- 6) 小谷智生(豊中市立豊中病院 小児科)、神尾範子、青天目信、下野九理子、沖永剛志、今井克美、永井利

- 三郎、大蔵惠一 発作性の低ナトリウム血症を伴った類もやもや病の 1 例 脳と発達 2004 年 36 卷 Suppl. S241 頁
- 7) 伊予田邦昭(広島市立広島市民病院 小児科)、永井利三郎、田辺卓也、山本克哉、松石豊次郎、栗原まな、栗屋豊、前川喜平 てんかん 重症心身障害児・者への予防接種基準 てんかん接種基準案による前方視的調査 難治てんかんの接種状況調査を踏まえて 脳と発達 2004 年 36 卷 Suppl. S141 頁
- 8) 永井利三郎 てんかん 重症心身障害児・者への予防接種基準 West 症候群治療後の予防接種実施状況に関する調査研究 脳と発達 2004 年 36 卷 Suppl. S140 頁
- 9) 田辺卓也、栗屋豊、松石豊治郎、永井利三郎、山本克哉、栗原まな、伊予田邦昭、前川喜平 てんかん 重症心身障害児・者への予防接種基準 乳児重症ミオクロニーてんかん症例の予防接種状況 脳と発達 2004 年 36 卷 Suppl. S139 頁
- 10) 田辺卓也、栗屋豊、松石豊次郎、永井利三郎、山本克哉、栗原まな、伊予田邦昭、前川喜平 乳児重症ミオクロニーてんかん(SMEI)症例のワクチン接種状況調査 厚生労働省ワクチン・接種方法研究班内「ハイリスク児・者への予防接種基準作成に関する研究班」 脳と発達 2004 年 36 卷 4 号 318-323 頁
- 11) 守口絵里、永井利三郎 てんかんをもつ子どもとその家族に対する生活援助に関する検討 てんかん研究 2004 年 22 卷 1 号 48-49 頁
- 12) 押谷明佳、中嶋有加里、大園彩子、奥村起美、大橋一友 妊婦ドライバーのシートベルト着用に関するアンケート調査 大阪母性衛生学会雑誌 2004 年 40 卷 1 号 66-72 頁
- 13) 大園彩子、中嶋有加里、奥村起美、押谷明佳、大橋一友 妊婦におけるシートベルト着用時の圧力と圧迫感に関する研究 大阪母性衛生学会雑誌 2004 年 40 卷 1 号 73-79 頁
- 14) 奥村起美、中嶋有加里、大園彩子、押谷明佳、大橋一友 妊娠中のシートベルト装着方法指導および妊婦用補助ベルト使用による圧力変化 大阪母性衛生学会雑誌 2004 年 40 卷 1 号 80-87 頁
3. 研究報告
- 1) 藤原千恵子、星和美、石井京子、高谷裕紀子、河上智香、西村明子 看護系大学卒業看護者のキャリア形成に関する探索的研究 平成 13 年度～平成 15 年度科学研究費補助金 萌芽研究 研究報告書
- 2) 永井利三郎、高橋清子、田辺卓也、栗原まな、山本克哉、伊予田邦昭、松石豊次郎、栗屋豊、前川喜平 West 症候群治療後の予防接種実施状況に関する調査研究(第 2 報) 厚生労働省ワクチン・接種方法研究班「安全なワクチン確保とその接種方法に関する総合的研究」 研究報告書
- 3) 中嶋有加里、大橋一友 妊産婦のシートベルト着用率向上にむけた基礎的検討と教育プログラムの作成 佐川交通社会財団 一般研究 交通安全対策振興助成研究報告書 2004 年第 19 卷 78-84 頁
- 4) 蝦名美智子、松森直美、二宮啓子、半田浩美、鈴木敦子、赤川晴美、榎木野裕美、杉本陽子、前田貴彦、高橋清子 子どもと親へのプレパレーションの実践普及－子どもと親が安心して医療を受けられるための医師・看護士の役割と協働－ 平成 15 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)報告書 2004 年 619-637 項
- 5) 高橋清子、榎木野裕美、鈴木敦子、赤川晴美、蝦名美智子、二宮啓子、松森直美、片田範子、勝田仁美、小迫幸恵、松林智美、笹木忍、中野綾美、筒井真優美、飯村直子、江本リナ、来生奈巳子、福地麻貴子 「検査・処置を受ける子どもへの説明と納得」に関するケアモデルの実践と評価(その 3)－看護師の親に対する認識と実践の変化とケアの広がり－ 平成 12・13・14 年度 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2) 研究成果報告書 2004 年 31-41 項
4. 大学・研究所等の報告
- 1) 東田有加、山口雅子、大橋一友 膽帶巻絡の分娩経過に与える影響 大阪大学看護学雑誌 2004 年 10 卷 1 号 3-10 頁
- 2) 井関敦子、大橋一友 帝王切開に対する在日ブラジル人妊婦の認識 香川医科大学看護学雑誌 2004 年 8 卷 1 号 53-58 頁
- 3) 山口雅子 ミシガン大学における出産 大阪大学看護学雑誌 2004 年 10 卷 1 号 35-42 頁
- 4) 河上智香、藤原千恵子、仁尾かおり、石見和世、文字智子、高田一美、高谷裕紀子 小児専門病院に勤務する看護師の職務ストレスとサポートに関する研究 大阪大学看護学雑誌 2004 年 10 卷 1 号 11-20 頁
- 5) 西村明子、河上智香、藤原千恵子、林田麗、星和美、彦惣美穂、石井京子、仁尾かおり、石見和世、古賀智影、高谷裕紀子 看護師の属性による職務ストレ

スとサポート認知の差異 大阪大学看護学雑誌
2004年10月1号 21-27頁

5.解説・総説

- 1) 高木洋治 中心静脈栄養 TPN(高カロリー輸液; IVH) の実際 臨床看護 2004年30卷1号 34-42頁
- 2) 高木洋治 各種輸液製剤の特徴と使い分け 中心静脈栄養製剤 Modern Physician 2004年24卷2号 207-216頁
- 3) 高木洋治 3ヶ月以上のTPN管理下で微量元素の補給は必要か 必要とする立場から 医学のあゆみ 2004年209卷5号 332-337頁
- 4) 高木洋治 在宅中心静脈栄養法指導 臨床外科 2004年11卷59号 402-404頁
- 5) 高木洋治(監修) ヨウ素(I)・鉄(Fe) 一投与の必要性と推奨量－ 静脈栄養と微量元素 Series-5 味の素ファルマ(株) 2004年1-6頁
- 6) 高木洋治 日本人の食事摂取量基準(栄養所要量) はいかに策定されているか、されるべきか 各論 微量ミネラル 静脈経腸栄養 2004年3卷19号 53-61頁
- 7) 高木洋治、多胡彰郎 広範囲血液・尿化学検査、免疫学的検査－その数値をどう読むか－ 第6版 (2)iv. 生化学検査 (2)F. 金属 (1)クロム 日本臨床 2004年62卷(増刊号12卷)301-307頁
- 8) 高橋清子、樋木野裕美、鈴木敦子、赤川晴美、鎌田佳奈美、蝦名美智子、二宮啓子、松森直美、半田浩美、杉本陽子、前田貴彦 日本的小児看護におけるプリパレーションに関する文献検討 日本小児看護学会誌 2004年第13卷1号 83-91項

6.その他

II 著書

1.一般著書

- 1) 西田勝、永井利三郎、牧一郎 他9人 障害を持つこどもたちのよりよい生活のために 編集・発行 大阪小児科医会 勤務医部会障害児検討問題委員会 2004年11月
- 2) 永井利三郎 てんかんを正しく理解していただくために 日本てんかん協会大阪府支部 2004年11月
- 3) 永井利三郎 てんかんを正しく理解していただくために 大阪府 2004年11月

2.専門著書

- 1) 永井利三郎 小児神経学 最近の話題 神経・筋疾患 α -dystroglycanopathy 小児神経学の進歩

- 2004年33卷133-135頁
- 2) 永井利三郎 「筋力低下・筋萎縮」 今日の小児診断指針第4版 五十嵐隆、大蔵恵一、高橋孝雄編 2004年154-156頁 医学書院
- 3) 永井利三郎 脳波検査 エクセルナース[検査編] 松岡緑、樋木晶子監修 2004年104-107頁 メディカルレビュー社
- 4) 永井利三郎、山川裕子 検査の手順と看護ケア 脳波検査 エクセルナース[検査編] 松岡緑、樋木晶子監修 2004年108-111頁 メディカルレビュー社
- 5) 永井利三郎 體液検査 エクセルナース[検査編] 松岡緑、樋木晶子監修 2004年180-181頁 メディカルレビュー社
- 6) 永井利三郎、福井幸子 脳波検査 検査の手順と看護ケア エクセルナース[検査編] 松岡緑、樋木晶子監修 2004年182-186頁 メディカルレビュー社
- 7) 大橋一友 性腺機能検査 エクセルナース[検査編] 樋木晶子、松岡緑編 2004年448-449頁 メディカルレビュー社
- 8) 大橋一友、佐治文隆 生殖医療のコツ 吉村泰典編 2004年32-33頁 中山書店

3.教科書

- 1) 上田隆、炭原加代、竹村佳子、葉久真理、日隈ふみ子、柳吉桂子、山口雅子、山野修司 2005年度 助産師国家試験対策模擬問題 大橋一友医学監修 竹内美恵子編著 2004年 メディカ出版

III 招聘講演・シンポジウム等

1.国際学会

2.国内学会

- 1) 高木洋治 生体微量元素の栄養学と臨床 平成16年度第1回食品栄養科学月例セミナー 2004年5月、静岡
- 2) 高木洋治 ミネラルの機能と応用－栄養面を中心にして－ 熊本県ライフサイエンス調査研究会 2004年2月、熊本
- 3) 永井利三郎 箕面養護学校研修会 2004年1月
- 4) 永井利三郎 JAICA講義 平成15年度国別特設・ラオス母子保健看護コース 2004年1月
- 5) 永井利三郎 病虚弱児セミナーin関西 2004年2月、大阪
- 6) 永井利三郎 シンポジウム 「てんかん、重症心身障害児・者への予防接種基準」 第46回日本小児神

経学会総会。2004年6月、東京

- 7) 永井利三郎 市民公開シンポジウム「子ども虐待防止への各地の経験とこれからの取り組み」(平成16年度日本小児科学会「子どもの健康週間」事業)。2004年10月、大阪
- 8) 永井利三郎 厚生労働省委託事業 「精神障害者の理解と企業での就労を目指して」実行委員長 平成15年度精神障害者職業自立啓発セミナー。2004年3月、大阪
- 9) 永井利三郎 自閉症セミナー1。2004年1月、大阪
- 10) 永井利三郎 自閉症セミナー。2004年2.7月、大阪
- 11) 大橋一友 QOL評価事始 第93回日本保健医療行動科学会近畿支部研究会。2004年7月
- 12) 山口雅子 セミナー 「スポーツが妊娠に及ぼす影響」 山口大学医学部保健学科 2004年11月、山口県

IV 学会一般演題

1.国際学会

- 1) Takagi Y, Kikuchi T, Ikeda D, Nishida S, Sato M. Chromium concentrations in human plasma during home parenteral nutrition and infusion products in Japan. 7th International Society for Trace Element Research in Humans (ISTERH). November. 2004, Bangkok, Thailand
- 2) Tanaka K, Sando K, Wasa M, Fukuzawa M, Takagi Y. Blood concentrations of essential trace elements in patients receiving home parenteral nutrition in Japan. 7th International Society for Trace Element Research in Humans (ISTERH). November. 2004, Bangkok, Thailand
- 3) Imai K, Ueda H, Kamio N, Yanagihara K, Matsuoka T, Suzuki Y, Nagai T, Ozono K. Two steps individualized ACTH therapy for Cushing's syndrome. 5th Asian & Oceanian Epilepsy Congress. August. 2004, Bangkok, Thailand

2.国内学会

- 1) Hasegawa T, Sasaki T, Kimura T, Sando K, Wasa M, Takagi Y, Okada A. Indication of isolated small bowel transplantation for intestinal failure associated with liver dysfunction. 第41回日本小児外科学会。2004年6月、大阪
- 2) 田中清美、和佐勝史、福澤正洋、高木洋治 在宅栄

養法施行患者における微量元素製剤の投与量と血中濃度の検討 第15回日本微量元素学会。2004年7月、東京

- 3) 藤井恵、文字智子、高田一美、石見和世、仁尾かおり、高谷裕紀子、河上智香、藤原千恵子 一般病院小児病棟における看護師の職務ストレス研究 日本小児看護学会第14回学術集会。2004年、宮崎市。
- 4) 文字智子、高田一美、石見和世、仁尾かおり、高谷裕紀子、藤井恵、河上智香、藤原千恵子 混合病棟における看護師の職務ストレス研究 日本小児看護学会第14回学術集会。2004年、宮崎市
- 5) 高田一美、文字智子、仁尾かおり、石見和世、藤井恵、河上智香、藤原千恵子、高谷裕紀子 小児看護を実践する看護師が認知するサポートに関する研究 第30回日本看護研究学会。2004年、さいたま市
- 6) 河上智香、藤原千恵子、渡邊幹夫、石井京子、多河典子、小林吉晴 大学教員の看護実習におけるストレスに対するコルチゾールを用いた評価 日本健康心理学会第17回大会。2004年、東京都
- 7) 石見和世、高田一美、文字智子、仁尾かおり、高谷裕紀子、藤井恵、高城美圭、高城智圭、河上智香、藤原千恵子 小児と関わる看護師の職務ストレス認知 一病院・病棟形態と状況要因による差異 第35回日本看護学会 『小児看護』。2004年、秋田市
- 8) 木村澄子、岩崎朋之、三島彩子、柿添真由美、河上智香、藤原千恵子 手術目的で初めて入院する乳幼児をもつ両親の不安の差異 第35回日本看護学会 『小児看護』。2004年、秋田市
- 9) 永井利三郎、高橋清子、田辺卓也、栗原まな、山本克哉、伊予田邦昭、松石豊次郎、栗屋豊、前川喜平 West症候群治療後の予防接種実施状況に関する調査研究(第2報) 厚生労働省ワクチン・接種方法研究班「安全なワクチン確保とその接種方法に関する総合的研究」研究班総会。2004年3月、東京
- 10) 沖永剛志、青天目信、神尾範子、下野久理子、柳原恵子、今井克美、永井利三郎、大蔵恵一 小児期発症のFisher症候群に対する免疫グロブリン療法の検討 第46回日本小児神経学会総会。2004年6月、東京
- 11) 柳原恵子、荒井洋、西本潤史、大谷和正、沖永剛志、永井利三郎、今井克美 良性乳児けいれんの発作群発時には少量カルバマゼピン内服が有効である 第46回日本小児神経学会総会。2004年6月、東京

- 12) 神尾範子、沖永剛志、青天目信、下野九理子、今井克美、永井利三郎、大菌恵一 1p36 欠失症候群 3 例にみられたてんかんの検討 第46回日本小児神経学会総会. 2004年6月、東京
- 13) 小野寺隆、真野利之、今井克美、永井利三郎、佐藤健二 A 群色素性乾皮症患者の神経症状の経過と福祉援助への要望に関するアンケート調査 第46回日本小児神経学会総会. 2004年6月、東京
- 14) 青天目信、大幡泰久、神尾範子、下野九理子、沖永剛志、今井克美、永井利三郎、大菌恵一 小脳失調が中核症状となった若年型歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症(DRPLA)の2例 第46回日本小児神経学会総会. 2004年6月、東京
- 15) 小谷智生、神尾範子、青天目信、下野九理子、沖永剛志、今井克美、永井利三郎、大菌恵一 発作性の低ナトリウム血症を伴った類もやもや病の1例 第46回日本小児神経学会総会. 2004年6月、東京
- 16) 伊予田邦昭、永井利三郎、田辺卓也、山本克哉、松石豊次郎、栗原まな、栗屋豊、前川喜平 てんかん重症心身障害児・者への予防接種基準 てんかん接種基準案による前方視的調査 難治てんかんの接種状況調査を踏まえて 第46回日本小児神経学会総会. 2004年6月、東京
- 17) 永井利三郎、栗屋豊、田辺卓也、松石豊治郎、山本克哉、栗原まな、伊予田邦昭、前川喜平 てんかん重症心身障害児・者への予防接種基準 West 症候群治療後の予防接種実施状況に関する調査研究 第46回日本小児神経学会総会. 2004年6月、東京
- 18) 田辺卓也、栗屋豊、松石豊治郎、永井利三郎、山本克哉、栗原まな、伊予田邦昭、前川喜平 てんかん重症心身障害児・者への予防接種基準 乳児重症ミオクロニーてんかん症例の予防接種状況 第46回日本小児神経学会総会. 2004年6月、東京
- 19) 田辺卓也、栗屋豊、松石豊次郎、永井利三郎、山本克哉、栗原まな、伊予田邦昭、前川喜平 厚生労働省ワクチン・接種方法研究班内「ハイリスク児・者への予防接種基準作成に関する研究班」 乳児重症ミオクロニーてんかん(SMEI)症例のワクチン接種状況調査 第46回日本小児神経学会総会. 2004年6月、東京
- 20) 久林智佳、小谷口綾、永井利三郎 障害児を育てる父母の意識に関するアンケート調査～障害児のきょうだいの育児について～ 第51回日本小児保健学会. 2004年10月、盛岡
- 21) 小谷口綾、久林智佳、永井利三郎 障害児を育てる父母の意識に関するアンケート調査 障害への思いについて 第51回日本小児保健学会. 2004年10月、盛岡
- 22) 武敦子、増田有美、永井利三郎 気管支喘息をもち、定期的に外来通院している小学生の保護者へのアンケート調査～保護者のもつ思いについて～ 第51回日本小児保健学会. 2004年10月、盛岡
- 23) 神尾範子、柳原恵子、今井克美、大場志保子、青天目信、沖永剛志、大菌恵一 髄液糖低値を伴う乳児期発症の難治性てんかんの4例、第1回近畿てんかん研究会. 2004年11月、大阪
- 24) 久林智佳、小谷口綾、永井利三郎 障害児を育てる父母の意識に関するアンケート調査 第8回阪神小児神経筋研究会. 2004年7月、大阪
- 25) 永井利三郎、今井克美、沖永剛志、神尾範子、青天目信、泉達郎、清水弘之 大脳半球機能的切除後に對側脳半球に起始する発作が頻発した大脳半球巨脳症の1例 第38回てんかん学会. 2004年10月、静岡
- 26) 今井克美、柳原恵子、真野利之、青天目信、神尾範子、沖永剛志、菌恵一、吉峰俊樹、永井利三郎 てんかん性棘波の加算平均電流源解析（電流源推定として適切な位相の検討） 第38回てんかん学会. 2004年10月、静岡
- 27) 大場志保子、沖永剛志、青天目信、神尾範子、今井克美、永井利三郎、大菌恵一 急速に進行した呼吸不全に対し NIPPV が有効であった強直性脊椎症候群の1例 日本小児神経学会近畿地方会. 2004年11月、大阪
- 28) 沖永剛志、青天目信、神尾範子、下野九里子、今井克美、大菌恵一、永井利三郎 小児の難治てんかんに対する経口 TRH 療法 日本小児神経学会近畿地方会. 2004年4月、大阪
- 29) 青天目信、神尾範子、沖永剛志、今井克美、永井利三郎、大菌恵一 光過敏性てんかん 視覚誘発作の検討 第45回大阪小児てんかん研究会.
- 30) 柳原恵子、真野利之、荒井洋、永井利三郎、平田雅之、今井克美 Glut-1異常症 (Glucose transporter 1 deficiency syndrome)における臨床症状と脳波の特徴 第34回日本臨床神経生理学会. 2004年11月、東京
- 31) 青天目信、大場志保子、沖永剛志、神尾範子、今井

- 克美、大蔵恵一、永井利三郎 造血幹細胞移植を施行したクラッペ病及び副腎白質ジストロフィーの電気生理学的变化 第34回日本臨床神経生理学会。2004年11月、東京
- 32) 今井克美、青天目信、大場志保子、沖永剛志、神尾範子、大蔵恵一、永井利三郎 Statistical SAM法(空間フィルター・統計解析併用)を用いたてんかん性磁気棘波のγ帯域解析 第34回日本臨床神経生理学会。2004年11月、東京
- 33) 永井利三郎、武敦子、増田有美 気管支喘息をもち、定期的に外来通院している小学生の保護者へのアンケート調査報告 第56回北摂小児科医会。2004年11月、西宮市
- 34) 真野利之、酒井規夫、下野九理子、沖永剛志、今井克美、谷池雅子 視神經萎縮、尿細管性アシドーシス、難聴など多彩な合併症を伴ったhereditary motor and sensory neuropathy の兄弟例 第46回日本小児神経学会総会。2004年7月15-17日、東京
- 35) 田川哲三、船戸正久、斎藤利雄、鈴木周平、服部英司、安原昭博、富和清隆、永井利三郎、三宅忠夫、藤田敬之助(大阪府医師会勤務医部会小児の在宅医療システム検討委員会) 第35回日本小児神経学会近畿地方会。2004年3月27日、神戸
- 36) 沖永剛志、青天目信、神尾範子、下野九理子、今井克美、永井利三郎、大蔵恵一 小児の難治性てんかんに対する経口TRH(taltirelin hydrate)療法 第35回日本小児神経学会近畿地方会。2004年3月27日、神戸
- 37) 中道美言、西村明子、大橋一友 助産師の三陰交のツボ刺激に関する認知度の調査 第45回日本母性衛生学会。2004年9月、東京
- 38) 金正菜美、炭原加代、大橋一友 若年女性の喫煙行動に関連する因子－性周期と心理・社会的背景－ 第45回日本母性衛生学会。2004年9月、東京
- 39) 佐藤珠美、小林益江、大橋一友 地域の更年期女性のQuality of life 第19回日本更年期医学会。2004年10月、広島
- 40) 守安佳世、炭原加代、中嶋有加里、西村明子、大橋一友 大学生の性行動と性意識－高校での性教育受講の有無による検討－ 第45回日本母性衛生学会。2004年9月、東京
- 41) 大園彩子、中嶋有加里、奥村起美、押谷明佳、大橋一友 妊婦におけるシートベルト着用時の圧力と圧迫感に関する研究 第42回大阪母性衛生学会。2004年1月、大阪
- 42) 奥村起美、中嶋有加里、大園彩子、押谷明佳、大橋一友 妊娠中のシートベルト装着方法指導および妊婦用補助ベルト使用による圧力変化 第42回大阪母性衛生学会。2004年1月、大阪
- 43) 押谷明佳、中嶋有加里、大園彩子、奥村起美、大橋一友 妊婦ドライバーのシートベルト着用に関するアンケート調査 第42回大阪母性衛生学会。2004年1月、大阪

V 受賞**VI 特許****VII 共同研究・外部資金**

- 1) 妊産婦の受動喫煙に対する禁煙プログラムの開発、大橋一友(代表)、山口雅子、西村明子、科学研究費補助金、萌芽研究、2003-2005年
- 2) 生涯発達過程で生じる危機に対する患者と家族のレジリエンスを高める支援システム研究、藤原千恵子(代表)、石井京子、吉川彰二、町浦美智子、大平光子、上田恵子、河上智香、西村明子、科学研究費補助金、基盤研究B、2003-2005年
- 3) 出生時障害を有する乳幼児の育児家族の援助及び育児家族の受容過程に関する研究、山口雅子(代表)、河上智香、科学研究費補助金、萌芽研究、2004年
- 4) 周産期ケアのデータベース化と情報開示に関する研究、西村明子、科学研究費補助金、若手研究B、2003年-2004年
- 5) 小児のけいれん重積に起因する脳障害防止のための研究－細胞死関連蛋白に注目して－ 永井利三郎、入江康至、科学研究費補助金、萌芽研究、2004-2006年
- 6) ハイリスク児・者に対する接種基準と副反応に関する研究、栗尾豊(代表)、永井利三郎他8人、厚生労働省予防接種副反応研究班、2002-2004年
- 7) 奨学寄附金、大橋一友教授研究助成、大阪New ARTクリニック
- 8) 奨学寄附金、大橋一友教授研究助成、末包クリニック

総合ヘルスプロモーション科学講座

I 論文

1. 学術論文

- 1) Inoue M, Ohta M, Iuchi K, Matsumura A, Ideguchi K, Yasumitsu T, Nakagawa K, Fukuhara K, Maeda H, Takeda S, Minami M, Ohno Y, Matsuda H. Benefits of Surgery for Patients with Pulmonary Metastases from Colorectal Carcinoma. *The Annals of thoracic surgery* 2004; 78 : 238-44
- 2) Tamura H, Tsukamoto H, Mukai S, Kato T, Minamoto A, Ohno Y, Yamashita H, Mishima H. Improvement in cognitive impairment after cataract surgery in elderly patients. *Journal of cataract and refractive surgery* 2004; 30 : 598-602
- 3) Inoue M, Sawabata N, Takeda S, Ohta M, Ohno Y, Maeda H. Results of surgical intervention for p-stage III A(N2) non-small cell lung cancer: Acceptable prognosis predicted by complete resection in patients with single N2 disease with primary tumor in the upper lobe. *The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery* 2004 ; 127(4) : 1100-1106
- 4) Hayashi C, Hayakawa K. Factors Affecting the Appearance of 'Twin Language': an Original Language Naturally Developing within Twin Pairs. *Environmental Health and Preventive Medicine* 2004; 9(3):103-110
- 5) Arakida M, Takahashi S, Tashiro J, Kanamori M, Mori T. Changes of Mental Health Status and Examination of Predictive Factors in Junior High School Students: A Three-Year Longitudinal Investigation *Japanese Journal of School Health* 2004;46(3):227-241
- 6) Takashima M, Shirai F, Sageshima M, Ikeda N, Okamoto Y, Dohi Y. Distinctive bacteria-binding property of cloth materials. *Am. J. Infect. Control* 2004; 32(1) : 27-30
- 7) 高橋育代、小笠原知枝、久米弥寿子 がん体験者のQOLに対する自助グループの情緒的サポート効果 *日本がん看護学会誌* 2004年18巻1号 14-24頁
- 8) 葉山有香、沼波勢津子、新田紀枝、阿曾洋子、中平三枝子 シスプラチン投与後の不快な症状に対する足浴後マッサージの効果 第34回日本看護学会論文

集成人看護Ⅱ 2004年 18 - 20 頁

- 9) 新田紀枝、阿曾洋子、葉山有香、中平三枝子、沼波勢津子 化学療法に伴う遷延性嘔気に対する足浴後マッサージによるリラクセーション効果 看護研究 2004年 37巻 6号 63 - 74 頁
 - 10) 早川和生 地域看護学の理論的基盤 一グローバリズム VS ローカリズム－ 日本地域看護学会誌 2004年 7巻 1号 5-7 頁
 - 11) 杉浦圭子、伊藤美樹子、三上洋 在宅介護の状況および介護ストレスに関する介護者の性差の検討 日本公衆衛生雑誌 2004年 51巻 240-251 頁
 - 12) 九津見雅美、伊藤美樹子、三上洋 介護保険サービス決定における要介護者と家族の主体性に関連する要因の検討 利用者の基本属性による違い 日本公衆衛生雑誌 2004年 51巻 507-521 頁
 - 13) 梅藤薰、荒木田美香子、犬賀辰子、宮崎雅代、青柳美樹、永井道子 農山村地域における事業所の健康管理状況と地域保健サービスの提供に関する調査 保健師ジャーナル 2004年 60巻 7号 66-673 頁
 - 14) 三橋恭子、田代順子、小澤道子、菱沼典子、川越博美、森明子、荒木田美香子、村井文江、野口真貴子 ヘルス・ボランティア指向のある看護大学生の『身近な健康問題とケア』の認識とボランティア経験 聖路加看護学会誌 2004年 8巻 1号 36-43 頁
 - 15) 高橋佐和子、荒木田美香子 中学生の精神的健康状態とその要因に関する検討(第2報) 家族の要因と家族支援 小児保健研究 2004年 63巻 2号 221-229 頁
- #### 2. 会議録
- 1) Ogasawara C, Furuhashi Y, Hasegawa T, Kume Y, Takahashi I, Katayama Y, Andou M, Kuroda M, Araki Y, Yamamoto Y, Okazaki S, Tababe M. Nursing Diagnoses and Nursing Intervention in Japan for Terminal Stage Breast Cancer Patients Admitted Under Differing Care Aims. NANDA-NIC-NOC, Chicago, U.S.A. 2004 ; 31-32
 - 2) Numasaki H, Harauchi H, Ohno Y, Inamura K, Kasahara S, Monden M, Sakon M. Application of spectrum analysis and sequence relational analysis for the medical staff's job classification: Use of time factor and behavior factor for job workflow. The 2004 conference of the International Federation of Classification Societies, Chicago, U.S.A. 2004; 102-103

- 3) 萩本明子、大野ゆう子、馬醫世志子、増居志津子、中村正和 禁煙指導技術による禁煙効果の分析 第13回日本健康教育学会講演集 2004年12巻 Supplement 108-109頁
- 4) 村田加奈子、中村隆、大野ゆう子 システムダイナミクスモデルにおける推移確率行列の最尤推定法の開発に関する研究－高血圧人口動態モデルの構築を例に－ 第24回医療情報学連合大会論文集（第5回日本医療情報学会学術大会）2004年24巻 Supplement 1178-1179頁

3. 研究報告

- 1) 真田弘美、阿曾洋子、足立香代子、須釜淳子、徳永恵子、田中マキ子、廣瀬秀行、宮地良樹、森口隆彦 褥瘡ケアにおける看護技術の基準化とその経済評価 厚生科学研究費助成金長寿科学総合研究事業 平成15年度総括研究報告書 2004年
- 2) 村田加奈子、大野ゆう子、笠原聰子、藤田麻里、矢野忠 高校生におけるライフスタイル・心身状態からみた学年・進路別の健康度比較 Health Sciences 別冊 2004年20巻2号 214-221頁
- 3) 三上洋、伊藤美樹子、杉浦圭子、谷川緑、山平優子、荒木智子、大島望、田口稔 「東大阪市居宅介護サービスの利用に関するアンケート調査」報告書 2004年3月
- 4) 三上洋、有馬志津子、杉浦圭子、谷川緑、山平優子 大学におけるたばこ対策とその評価に関する研究 平成15年度厚生科学研究費補助金（健康科学総合研究事業）2004年3月
- 5) 三上洋 大学におけるたばこ対策とその評価 平成15年度厚生科学研究費補助金（健康科学総合研究事業）「地域におけるたばこ対策とその評価に関する研究」分担研究「大学におけるたばこ対策とその評価に関する研究」報告書 71頁-94頁
- 6) 土肥義胤、白井文恵 末梢血管に由来するマクロファージ内での抗酸菌の増殖に及ぼすサイトカインの影響 乳酸菌研究会に関する報告書 2004年 348-353頁
- 7) 有馬志津子 海外研修レポート アメリカメイヨーメディカルセンター 2004年

4. 大学・研究所等の報告

- 1) 上田志朗、手塚和彰、藤正巖、斎藤芳雄、松谷明彦、羽藤邦利、大野ゆう子、古川俊之、田村高幸、中村亜紀 薬の副作用について 千葉大学法学論集

- 2004年19巻2号
- 2) 大野ゆう子、中村隆、大島明、左近賢人、津熊秀明、味木和喜子、長谷川敏彦、早田みどり、門田守人、永野浩昭、藤本春美、森田輝代、立花直子、中村正和、増居志津子、稻邑清也、原内一、笠原聰子、村田加奈子、王靈芝、中村亜紀、石井豊恵、北村有子、杉山裕美、雜賀公美子、沼崎穂高、横内光子、萩本明子、伊藤ゆり、蘇瑛、于力、田中由美子、千原由香、野田裕子、馬醫世志子 21世紀型保健医療指標の開発（2）統計数理研究所共同研究リポート 166 2004年

- 3) 山口健、「がんの社会学」に関する合同研究班、大野ゆう子ら “がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査報告書 概要版 がんと向き合った7,885人の声” シリーズ「がん体験者の声」第1集 2004年

5. 解説・総説

- 1) 阿曾洋子 看護研究における実験研究 看護研究 2004年37巻1号 3-12頁
- 2) 阿曾洋子 褥瘡ケア：教育の現状と研究 Quality Nursing 2004年10巻6号 22-27頁
- 3) 阿曾洋子 褥瘡ケアの実態と予防看護 日本褥瘡学会誌 2004年6巻1号 1-7頁
- 4) 阿曾洋子、本山裕子 看護機能の拡大は飛躍の起爆剤か、パンドラの箱か 日本看護研究学会雑誌 2004年27巻1号 15-16頁
- 5) 大野ゆう子 焦点 看護・医療の研究におけるタイムスタディ 第1章 看護・医療の研究におけるタイムスタディの役割と将来動向 看護研究 2004年37巻4号 3-10頁
- 6) 矢野祐美子、松邨敦代、阿曾洋子 看護に関する実験研究での測定機器をめぐる問題 看護研究 2004年37巻1号 21-26頁
- 7) 細見明代、伊部亜季、阿曾洋子 看護に関する実験研究での対象者をめぐる問題 看護研究 2004年37巻1号 13-19頁
- 8) 山本敬子、玉井由理子、阿曾洋子 実験研究における倫理的配慮をめぐる問題 看護研究 2004年37巻1号 27-35頁
- 9) 新田紀枝、和泉京子、姉崎久敬、玉井由理子、伊部亜希、江川幸二、古賀輝美、細見明代、川端京子、阿曾洋子 看護に関する実験研究の国内外比較 看護研究 2004年37巻1号 37-48頁
- 10) 笠原聰子、石井豊恵、沼崎穂高、浦梨枝子、馬醫世

- 志子、輪湖史子、横内光子、鈴木珠水、大野ゆう子
焦点 看護・医療の研究におけるタイムスタディ 第
2章 タイムスタディとは その背景と特徴 看護研
究 2004年37巻4号11-22頁
- 11) 笠原聰子、石井豊恵、沼崎穂高、中村亜紀、聲高英
代、原内一、稻邑清也、大野ゆう子 焦点 看護・医
療の研究におけるタイムスタディ 第3章 タイムス
タディの実施 看護研究 2004年37巻4号23-32頁
- 12) 沼崎穂高、笠原聰子、石井豊恵、古川有香、飯沼正
博、国府裕子、北村有子、萩本明子、雜賀公美子、
原内一、稻邑清也、大野ゆう子 焦点 看護・医療の
研究におけるタイムスタディ 第4章 タイムスタデ
ィにおけるデータ管理 看護研究 2004年37巻4号
33-46頁
- 13) 石井豊恵、笠原聰子、沼崎穂高、杉田塩、古川有香、
飯沼正博、国府裕子、原内一、稻邑清也、大野ゆう
子 焦点 看護・医療の研究におけるタイムスタディ
第5章 タイムスタディによる結果の解析手法 看護
研究 2004年37巻4号47-58頁
- 14) 石井豊恵、笠原聰子、沼崎穂高、左近賢人、藤本春
美、杉田塩、門田守人、原内一、大野ゆう子 焦点 看
護・医療の研究におけるタイムスタディ 第6章 タ
イムスタディを円滑に進めるための実践的な諸課題
とその対応 看護研究 2004年37巻4号59-72頁
- 15) 三上洋、荻原俊男 【ナースがこたえる心臓の病気
200の質問】 高血压・低血压についての質問 ハー
トナーシング 2004年108-125頁 春季増刊
- 16) 三上洋 【降圧薬 合併症予防のための至適使用法】
降圧薬療法の進歩 これからの治療法 降圧薬療法
のコストベネフィット 治療学 2004年38巻
177-180頁
- 17) 三上洋 Information Up-to-Date 社会心理学的因素
と高血压発症リスク 血圧 2004年11巻210-211頁
- 18) 三上洋 Information Up-to-Date ARBによる高血压
治療 忍容性とコンプライアンス 血圧 2004年11
巻440-441頁
- 19) 三上洋 Information Up-to-Date アンジオテンシ
ン受容体拮抗薬と閉経後婦人の性機能 血圧 2004
年11巻522-523頁
- 20) 三上洋 Information Up-to-Date 高血压患者の性
機能 血圧 2004年11巻768-769頁
- 21) 荒木田美香子、井田真理子、永井道子、青柳美樹
小・中学校の虐待事例発見の特徴と連携の現状 保
健の科学 2004年46巻10号736-741頁
- ## 6. その他
- 1) 矢野祐美子 編入学を目指す人へ 2005年度全国助
産師・保健師学校入試問題集 2004年14-17頁 メ
ディカ出版
- ## II 著書
- ### 1. 一般著書
- 1) 三上洋【特殊事情での高血圧治療 抜歯を含めた外
科的手術を受ける際の注意点】 予防とつきあい方
シリーズ 高血圧・糖尿病 荻原俊男監修 2004年
102-103頁 メディカルレビュー社
- 2) 三上洋【高血圧とQOL】 予防とつきあい方シリーズ
高血圧・糖尿病 荻原俊男監修 2004年104-105頁
メディカルレビュー社
- 3) 荒木田美香子 2005年度出題基準別保健師国家試験
予想問題集 星旦二監修 2004年 メディカ出版
- 4) 荒木田美香子 新国家試験に出てくる保健必修科目
エッセンス 星旦二監修 2004年 メディカ出版
- ### 2. 専門著書
- 1) 小笠原知枝、片山由加里 看護記録 看護診断・実
践・評価の実際 一看護実践の系統的アプローチ
松木光子編 2004年191-208頁 南江堂
- 2) 真田弘美、阿曾洋子、足立香代子、須釜淳子、徳永恵
子、田中マキ子、廣瀬秀行、宮地良樹、森口隆彦 検
査アセスメントガイド 真田弘美編 2004年1-145
頁 中山書店
- 3) 早川和生監訳 「看護介入」第2版NICから精選した
43の看護介入 第Ⅲ章27 禁煙支援 翻訳 2004年
365-373頁 医学書院
- 4) 早川和生 訪問看護実践マニュアル -問題点とそ
の対応- 福地總逸、小平廣子編 2004年改訂版
41-47頁 医薬ジャーナル社
- 5) 早川和生 看護介入第2版 37 転倒予防 グロリア
M. ブレチュク C. マクロスキ一編集 早川和生監訳
2004年 医学書院
- 6) 三上洋 内分泌 ⑤副腎皮質・髓質機能検査 エクセ
ルナース(検査編) 松岡緑、橋木晶子監修 2004
年450-453頁 メディカルレビュー社
- 7) 三上洋、荻原俊男 高齢者によく見られる疾患 高血
圧症 エキスパートナース MOOK[新版] 高齢者ケア
マニュアル 福地義之助編 2004年209-213頁 照
林社

- 8) 尾ノ井美由紀 訪問看護実践マニュアル ー問題点とその対応ー 福地總逸・小平廣子編 2004 年改訂版 41-47 頁 医薬ジャーナル社
- 9) 尾ノ井美由紀 看護介入第 2 版 37 転倒予防 グロリア M. プレチュク C. マクロスキー編集 早川和生監訳 2004 年 493-504 頁 医学書院

3. 教科書

- 1) 荒木田美香子 Essentials 地域看護学 木下由美子、麻原きよみ、荒木田美香子、佐伯和子、原礼子編 2004 年 医歯薬出版

III 招聘講演・シンポジウム等

1. 国際学会

2. 国内学会

- 1) 阿曾洋子、楠本万里子、萬田良子、山口悦子、別府宏圏、深谷翼 シンポジウム 看護職の静脈注射実施と安全管理体制 日本看護協会神戸研修センター 看護職の責任と静脈注射研修会. 2004 年 6 月、神戸市
- 2) 阿曾洋子、中村恵子、谷眞子、長岡栄子、駒木根愛 シンポジウム 一看護教育ー 教育と臨床との有機的連携 第 35 回日本看護学会. 2004 年 8 月、和歌山市
- 3) 阿曾洋子 招聘講演 エビデンスに基づく日常看護ケア ー実践編ー 平成 16 年度三重県看護協会研修会. 2004 年 11 月、津市
- 4) 阿曾洋子 招聘講演 より質の高い研究への課題・展望 国立循環器病センター 第 2 回看護学会. 2004 年 1 月、吹田市
- 5) 阿曾洋子 招聘講演 研究査読について 第 46 回日本手術看護学会大阪地区研究発表大会. 2004 年 11 月、大阪市
- 6) 小笠原知枝、岡崎寿美子、田邊美智子、古橋洋子、久米弥寿子、長谷川智子、大北美恵子、鎌野りか、高橋育代、片山由加里 交流集会 ターミナルケアにおける看護診断の現状と今後の課題 第 24 回日本看護科学学会学術集会. 2004 年、千代田区
- 7) 大野ゆう子 シンポジウム 三次元空間としての病院デザイン 財団法人 医療科学研究所 第 14 回シンポジウム. 2004 年 10 月、東京都
- 8) 早川和生 会長講演 「地域看護学の理論的基盤」 ーグローバリズム VS ローカリズムー 第 7 回日本地域看護学会講演集 日本地域看護学会. 2004 年
- 9) 三上洋 「防煙の理論と実際ー看護学生への喫煙防止教育の必要性と具体的な教育方法」 日本看護協会神

- 戸研修センター 禁煙支援リーダー研修会. 2004 年 2 月、神戸市
- 10) 荒木田美香子 シンポジウム 心のヘルスプロモーションーシンポジウム組織展開をめざした産業保健看護における心のヘルスプロモーション 第 7 回日本地域看護学会. 2004 年 6 月、吹田市
- 11) 荒木田美香子 シンポジウム 健康教育・ヘルスプロモーションにおけるエビデンスとは何か 看護学の立場から 日本健康教育学会. 2004 年 6 月、栃木県壬生町
- 12) 荒木田美香子 プレコンgres 学校保健と地域保健が取り組む思春期の課題 第 23 回日本思春期学会. 2004 年 8 月、つくば市
- 13) 荒木田美香子、シンポジウム 健康教育・生活習慣の改善 行動変容の促進 地域保健と職域保健の連携ー看護教育の立場から 日本総合健診学会. 2004 年 2 月、横浜市

IV 学会一般演題

1. 国際学会

- 1) Ogasawara C, Furuhashi Y, Hasegawa T, Kume Y, Takahashi I, Katayama Y, Andou M, Kuroda M, Araki Y, Yamamoto Y, Okazaki S, Tababe M. Nursing Diagnoses and Nursing Intervention in Japan for Terminal Stage Breast Cancer Patients Admitted Under Differing Care Aims. NANDA・NIC・NOC, 2004, Illinois, Chicago, U.S.A.
- 2) Ito Y, Ohno Y, Kasahara S, Sugiyama H, Su Y, Soda M, Suyama A. ON THE APPLICATION OF PERIOD ANALYSIS FOR CANCER SURVIVAL IN NAGASAKI CANCER REGISTRY, JAPAN. 26th Annual Meeting of the International Association of Cancer Registries, September 14-16. 2004, Beijing, China
- 3) Saika K, Ohno Y, Tsukuma H, Oshima A, Hasegawa T. SURGICAL VOLUME-OUTCOME ON STOMACH AND LUNG CANCER. 26th Annual Meeting of the International Association of Cancer Registries, September 14-16. 2004, Beijing, China
- 4) Su Y, Ohno Y, Sugiyama H, Saika K, Ito Y, Soda M, Suyama A. THE CHANGE OF THE CURE AND THE MEAN SURVIVAL TIME FOR THE LIVER CANCER PATIENTS IN NAGASAKI JAPAN. 26th Annual Meeting of the International Association of Cancer Registries,

September 14-16. 2004, Beijing, China

- 5) Ohno Y, Nakamura T, Murata K, Tsukuma H, Oshima A. PROJECTIONS OF JAPANESE CANCER INCIDENCES BASED ON THE ANALYSES USING A BAYESIAN AGE-PERIOD-COHORT MODEL. 26th Annual Meeting of the International Association of Cancer Registries, September 14-16. 2004, Beijing, China
- 6) Ooe Y, Nakamura A, Ohno Y. ADL CHANGE WITH AGING IN JAPAN. 2004 AFAR Grantee Conference, November 18-20. 2004, Washington, DC, U.S.A.
- 7) Nakamura A, Ohno Y, Ooe Y, Nakamura T, Haruki E. THE CHARACTERISTICS OF FUNCTIONAL DECLINE ALONG WITH AGE IN THE JAPANESE HEALTHY ELDERLY PEOPLE. 2004 AFAR Grantee Conference, November 18-20. 2004, Washington, DC, U.S.A.
- 8) Arakida M, Aoyagi M, Baito K. What kind of services do the small- and medium-scale enterprises demand to the community health service? International Symposium on Occupational Health in Small-scale Enterprises and the Informal Sector, November 12-15. 2004, Nagoya, Japan
- 9) Arakida M, Nagao A. Present state of execution of preventive behavior of low back pain and the related factors in nurses and care workers for old people. The 6th ICOH International Conference on Occupational Health for Health Care Workers, October 7-10. 2004, Kitakyusyu, Japan
- 10) Ito M, Yamazaki Y. The effectiveness of stigma copings of people with epilepsy in Japan. British Sociological Association Medical Sociology Group, 36th Annual conference, Sep. 2004, UK

2. 国内学会

- 1) 徳重あつ子、阿曾洋子、矢野祐美子、伊部亜希、松邨敦代 寝床内気候からみたエアマットレス使用時の体位変換時間の検討 第1回日本褥瘡学会近畿地方会学術集会. 2004年5月、吹田市
- 2) 石澤美保子、加藤真彦、中田美奈子、保田智子、奥田豊子、阿曾洋子 褥瘡患者の亜鉛供与量に関する考察 第6回日本褥瘡学会. 2004年9月、札幌市
- 3) 森田瞳、真田弘美、須釜淳子、阿曾洋子、足立香代子、須釜淳子、徳永恵子、田中マキ子、廣瀬秀行、宮地良樹、森口隆彦 高齢者における褥瘡部

ケア用創部アセスメントツールとケアアルゴリズムの臨床評価 第6回日本褥瘡学会. 2004年9月、札幌市

- 4) 伊部亜希、阿曾洋子、矢野祐美子、玉井由理子、新田紀枝、宮嶋正子 高齢者におけるおむつ内排泄の湿润と組織耐久性との関連について 第6回日本褥瘡学会学術集会. 2004年9月、札幌市
- 5) 木村静、阿曾洋子、矢野祐美子、伊部亜希、岡みゆき、徳重あつこ 全身清拭を受ける側の身体面へ影響 第12回日本人間工学会看護人間工学部会総会研究会. 2004年9月、北里大学
- 6) 徳重あつ子、阿曾洋子、矢野祐美子、伊部亜希、松邨敦代 エアマットレス使用時の寝床内気候についての検討 第12回日本人間工学会 看護人間工学部会研究会. 2004年9月、東京
- 7) 熊谷有記、小笠原知枝、高橋育代、片山由加里 総末期がん患者の家族のストレスコーピング－遺族会に参加している家族における検討－ 第30回日本看護研究学会学術集会. 2004年7月、大宮市
- 8) 雜賀公美子、大野ゆう子、杉山裕美、津熊秀明、大島明、長谷川敏彦 肺がん外科手術例における治療機別手術件数と予後との関係 第14回日本疫学会学術総会. 2004年1月、山形市
- 9) 杉山裕美、大野ゆう子、雜賀公美子、大島明、津熊秀明、味木和喜子 結腸がんの治癒患者割合と平均生存時間に関する研究 第14回日本疫学会学術総会. 2004年1月、山形市
- 10) 大江洋介、中村亜紀、大野ゆう子 訪問調査の中間評価7項目による要介護度の性差の検討 第41回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2004年6月、東京都
- 11) 大江洋介、中村亜紀、大野ゆう子、古川俊之 寿命の性差と要介護度の検討 第46回日本老年医学会学術集会. 2004年6月、千葉市
- 12) 中村亜紀、大野ゆう子、大江洋介 要介護認定申請者における要介護状態の3年間の変動 第46回日本老年医学会学術集会. 2004年6月、千葉市
- 13) 中村正和、増居志津子、萩本明子、馬醫世志子、大野ゆう子 禁煙指導者トレーニングの効果に関する研究の総括 ワークショップ方式の効果 第63回日本公衆衛生学会総会. 2004年10月、松江市
- 14) 三輪のり子、成瀬優知、中村隆、大江洋介、大野

- ゆう子 脳卒中死亡率の Age-Period-Cohort 分析
(1報) -脳梗塞- 第 63 回日本公衆衛生学会総会. 2004 年 10 月、松江市
- 15) 成瀬優知、三輪のり子、中村隆、大江洋介、大野ゆう子 脳卒中死亡率の Age-Period-Cohort 分析
(1報) -脳出血・クモ膜下出血- 第 63 回日本公衆衛生学会総会. 2004 年 10 月、松江市
- 16) 千原由香、笠原聰子、大野ゆう子、于力、石井豊恵、伊藤ゆり 階段下降時における松葉杖使用者の視線運動と動作特性：アイマークレコードによる分析 第 63 回日本公衆衛生学会総会. 2004 年 10 月、松江市
- 17) 田中由美子、笠原聰子、大野ゆう子、雑賀公美子、蘇瑛 アイマークレコードを用いた階段上昇時の視線移動解析：松葉杖使用時の特徴 第 63 回日本公衆衛生学会総会. 2004 年 10 月、松江市
- 18) 馬醫世志子、大野ゆう子、萩本明子、増居志津子、中村正和 指導技術面からみた禁煙指導者トレーニングプログラムの評価 第 63 回日本公衆衛生学会総会. 2004 年 10 月、松江市
- 19) 野田裕子、大野ゆう子、笠原聰子、立花直子、八尾正之、大倉睦美、嶋本喬 睡眠時無呼吸症候群における要治療群判別のための decision tree についての検討 第 63 回日本公衆衛生学会総会. 2004 年 10 月、松江市
- 20) 于力、大野ゆう子、笠原聰子、那須郁夫 う蝕モデルにおけるパラメータ年次推移の検討 第 63 回日本公衆衛生学会総会. 2004 年 10 月、松江市
- 21) 岸田利香、伊藤美樹子、早川和生 筋萎縮性側索硬化症患者の療養生活および病気理解に関する意向と病棟看護師の支援 第 7 回地域看護学学術集会. 2004 年 6 月 11 日、大阪
- 22) 西田好江、伊藤美樹子、早川和生 IT を用いた HIV 感染リスクアセスメントプログラムの開発 第 7 回地域看護学学術集会. 2004 年 6 月 11 日、大阪
- 23) 岡本薰、伊藤美樹子、早川和生 高齢者の新しい健康余命の推定の開発 第 7 回地域看護学学術集会. 2004 年 6 月 11 日、大阪
- 24) 上田裕子、伊藤美樹子、尾ノ井美由紀、早川和生 ケアマネージャーの職種と職場の現状 第 7 回地域看護学学術集会. 2004 年 6 月 11 日、大阪
- 25) 西原玲子、林知里、小林葉子、尾ノ井美由紀、早川和生 双生児言語発達と Twin-Talk 現象の関連 第 7 回地域看護学学術集会. 2004 年 6 月 11 日、大阪
- 26) 江口依里、尾ノ井美由紀、早川和生 発展途上国に派遣する隊員が直面する問題 第 63 回日本公衆衛生学会. 2004 年 10 月 28 日
- 27) 濱松渓子、尾ノ井美由紀、早川和生 トルエン取り扱い事業所における従業員の健康状態 作業環境の規模による比較 第 63 回日本公衆衛生学会. 2004 年 10 月 27 日
- 28) 村田淳子、尾ノ井美由紀、早川和生 ロボット介在活動における心理的効果の調査 第 63 回日本公衆衛生学会. 2004 年 10 月 27 日
- 29) 荒木智子、杉浦圭子、有馬志津子、伊藤美樹子、三上洋 高齢者を介護する家族の介護状況および介護肯定感の年齢別比較 第 7 回日本地域看護学会学術集会. 2004 年 6 月、吹田市
- 30) 九津見雅美、杉浦圭子、伊藤美樹子、三上洋 要介護者の施設入所意向とサービス利用状況 第 46 回日本老年医学会学術集会. 2004 年 6 月、千葉市.
- 31) 阪口勝彦、平野尚、吉田寛二、今中俊爾、新井誠、京昌弘、橋本久仁彦、奥田直樹、三上洋 カルシトリオール静注を用いた二次性副甲状腺機能亢進症の早期予防治療 第 49 回日本透析医学会雑誌. 2004 年 6 月、神戸市
- 32) 大角和、三上洋 大企業と中小企業における定期健康診断結果の比較検討 第 63 回日本公衆衛生学会総会. 2004 年 10 月、松江市
- 33) 谷川縁、杉浦圭子、有馬志津子、三上洋 看護学生の非喫煙継続への意志に関連する要因の検討 第 63 回日本公衆衛生学会総会. 2004 年 10 月、松江市
- 34) 文鐘聲、杉浦圭子、九津見雅美、伊藤美樹子、三上洋 在宅介護保険利用高齢者の生活満足度を規定する要因の検討 第 63 回日本公衆衛生学会総会. 2004 年 10 月、松江市
- 35) 丸谷祐子、京田 薫、三上洋 障害有病率に入院患者数を加味して算定した健康寿命の検討 第 63 回日本公衆衛生学会総会. 2004 年 10 月、松江市
- 36) 山平優子、三上洋 社会的認知理論を用いた胃がん検診を受診する意図に関する要因の検討 第 63 回日本公衆衛生学会総会. 2004 年 10 月、松江市

市

- 37) 荒木田美香子、永井道子 職場単位の精神健康とその関連要因の検討 第77回日本産業衛生学会. 2004年4月、名古屋市
- 38) 永井道子、荒木田美香子 小・中学校教師のメンタルヘルスと職場の人間関係 第77回日本産業衛生学会. 2004年4月、名古屋市
- 39) 中西俊樹、藤澤泰子、齋秀二、中川祐一、大関武彦、荒木田美香子、永井道子、青柳美樹 出生時から3歳迄の体重増加が小学校4年時及び中学校1年時での体格指数・血清脂質・レプチン値に与える影響 第107回日本小児科学会. 2004年4月、岡山市
- 40) 中西俊樹、齋秀二、藤澤泰子、遠藤彰、中川祐一、大関武彦、荒木田美香子、永井道子、青柳美樹 小学4年生及び中学1年生時における過体重度に影響する因子の検討 第107回日本小児科学会. 2004年4月、岡山市
- 41) 住吉健一、鎌田隆、市山純、井上章、清水善男、宮内利郎、西尾明、荒木田美香子 「職場復帰の実態調査アンケート」及び「職場復帰支援システムの開発」第77回日本産業衛生学会. 2004年4月、名古屋市
- 42) 白井文恵、池田七衣、土肥義胤 肺結核症患者のマクロファージのBCG菌殺菌能の低下 第77回日本細菌学会総会. 2004年4月、大阪市
- 43) 大関武彦、齋秀二、中西俊樹、中川祐一、藤澤泰子、荒木田美香子、金森雅男 若年発症2型糖尿病:疫学・治療・予後 乳幼児期の成長の肥満及び2型糖尿病発症に対する意義 第47回日本糖尿病学会. 2004年5月、千代田区
- 44) 青柳美樹、荒木田美香子 小中学校の虐待事例発見の特徴と連携の現状 第7回日本地域看護学会. 2004年6月、吹田市
- 45) 中西俊樹、藤澤泰子、齋秀二、中川祐一、大関武彦、荒木田美香子、永井道子、青柳美樹 出生時から3歳までの体重増加が10歳及び13歳時までの血清脂質に与える影響 低出生体重児と正常出生体重児との比較 第13回日本脂質栄養学会. 2004年7月、酒田市
- 46) 宇野暢江、荒木田美香子 中学生を対象とした性教育におけるピア・エデュケーションの有効性の検討 第23回日本思春期学会. 2004年8月、つ

くば市

- 47) 荒木田美香子、中野照代、藤生君江、片桐雅子、鈴木知代、仲村秀子、山名れい子、飯田澄美子 幼児健康診査における家族機能アセスメントに関する研究 -第2報- 要経過観察者からの妥当性の検討- 第63回日本公衆衛生学会. 2004年10月、松江市
- 48) 宮本真理、荒木田美香子 低出生体重児の体重増加量と学童期・思春期肥満との関係 第63回日本公衆衛生学会. 2004年10月、松江市
- 49) 荒木田美香子、笠島ありさ、高橋佐和子 養護教諭の児童虐待の認知状況と対応および研修経験の関連 第51回日本学校保健学会. 2004年11月、新潟市
- 50) 宇野礼子、伊藤美樹子 健康寿命の地域差を生み出すライフスタイルの検討 第7回日本地域看護学会. 2004年6月、吹田市
- 51) 萩森紀子、伊藤美樹子 不安気質による強い育児不安を持つ母親に対する保健師の有効な支援、第7回日本地域看護学会. 2004年6月、吹田市
- 52) 井上洋二、溝田友里、山崎喜比古、清水(丸山)由香、関由起子、若林チヒロ、的場智子、八巻(木村)知香子、伊藤美樹子、大平勝美、花井十伍、早坂典生、小山昇孝 薬害HIV感染患者・家族の生活実態とニーズに関する調査研究-第1報:基本設計と特徴 日本エイズ学会. 2004年12月、静岡
- 53) 溝田友里、井上洋二、山崎喜比古、清水(丸山)由香、伊藤美樹子、関由起子、若林チヒロ、的場智子、八巻(木村)知香子、大平勝美、花井十伍、早坂典生、小山昇孝 薬害HIV感染患者・家族の生活実態とニーズに関する調査研究-第2報:ヒアリング中間報告、日本エイズ学会. 2004年12月、静岡

V 受賞

- 1) 発達臨床研究賞、荒木田美香子、2004年10月、日本小児保健協会

VI 特許

VII 共同研究・外部資金

- 1) 業務量調査をもとにした21世紀型大学附属病院における運営評価方法の研究、大野ゆう子(代表)、科学

- 研究費補助金、基盤研究 B(2)、2004 年
- 2) 看護技術提供時の動作分析による作業効率性の評価と看護経済性の指標の開発、阿曾洋子（代表）、小笠原知枝、三上洋、東照正、久米弥寿子、矢野祐美子、高橋育代、細見明代、科学研究費補助金、基盤研究 B、2004 年
 - 3) 看護診断の正確性と看護ケアの質の評価に基づく教育プログラム、小笠原知枝（代表）、久米弥寿子、高橋育代、岡崎寿美子、田邊美知子、長谷川智子、山本裕子、科学研究費補助金、基盤研究 C、2004 年
 - 4) 看護学生に対するコミュニケーション技術教育における面接プログラム学習法の開発、久米弥寿子、科学研究費補助金、若手研究 B、2004 年
 - 5) 英国における難病患者の在宅看護と看護教育に関する調査研究、久米弥寿子、財団法人大阪難病研究財団、2004 年
 - 6) 松葉杖使用による階段歩行時の視線及び姿勢変動、笠原聰子、科学研究費補助金、若手研究 B、2004 年
 - 7) ターミナル期の患者を対象とした退院支援の現状と看護師の役割に関する研究、矢野祐美子、科学研究費補助金、若手研究 B、2004 年
 - 8) 悪性骨軟部組織肉腫患者の個別的ニードに応える情報提供と情緒的サポート－情報ネットワークシステムを活用して－、高橋育代、若手研究 B、2003-2004 年
 - 9) 地域保健と学校保健の連携による心の健康づくりプログラムの開発と評価、荒木田美香子、堀妙子、永井道子、中野照代、飯田澄美子、福永博文、文部科学省研究費補助金、基盤研究 B、2003-2004 年
 - 10) 薬害 HIV 感染者への感染告知がライフヒストリーに及ぼす影響、伊藤美樹子、財団法人俱申会、一般助成、2004 年
 - 11) 海外派遣助成、伊藤美樹子、財団法人大阪大学後援会、2004 年
 - 12) 海外研修助成（長期）、有馬志津子、メイヨーメディカルセンター、2004 年
 - 13) 奨学寄付金、微生物学研究助成、有限会社中垣技術士事務所、2004 年

病院看護部

1. 原著

- 1) 後藤美紀、平出敦 重症治療における経腸栄養の問題－食塩補充の検討－ 静脈経腸栄養 2004 年 19 卷 1 号

2. 誌上発表

- 1) 田中春美 助産教育のあり方と臨床現場の問題点 助産雑誌 2004 年 58 卷 3 号 35-38 頁
- 2) 田墨恵子 慢性新患患者への新しい自己管理援助コンプライアンスからアドヒアランスへ 各論「疾患別・患者の自己管理援助技術」①がん 月刊ナーシング・トゥデイ 2004 年 10 卷 25-27 頁
- 3) 加納尚美、大石時子、田中春美、山本令子 世界周産期学会・助産プログラムを終えて 助産雑誌 2004 年 58 卷 2 号 62-68 頁
- 4) 中島和江、八田かずよ、桑田成規、武田裕 医療情報の標準化はどこまで医療安全に寄与できるか－医療スタッフの安全性情報共有に必要な Web 活用－ 第 24 回医療情報学連合大会シンポジウム 2004 年
- 5) 中島和江、八田かずよ、岡本典子、武田裕 シリンジポンプを用いて投与する注射薬の準備におけるインシデント発生のリスクとプレフィルドシリンジ製剤使用の効果 病院管理 2004 年 14 卷 4 号 17-26 頁
- 6) 原麻衣子、黒瀬泉、村上聖女 帝王切開後経膣分娩（VBAC）における分娩所要時間と分娩予測の検討 大阪母性衛生学会雑誌 2004 年 40 卷 1 号 22-25 頁
- 7) 今田恭子、吉岡キヨ子、河村有亜、長岡淳子、田中春美、矢田（橋本）美奈子、下屋浩一郎、村田雄二 周産期医療における DV（ドメスティックバイオレンス）スクリーニングの取り組み 大阪母性衛生学会雑誌 2004 年 40 卷 1 号 30-32 頁
- 8) 藤原優子、上田博美、宮川潤一朗 糖尿病患者ケアにおける外来と病棟の連携 Nursing Today 2004 年 10 卷 44-46 頁
- 9) 梅田英子、錦戸咲子、山本佳奈代、大石雅子、伊藤憲子 子どもの苦痛を和らげる内服援助 小児看護 2004 年 27 卷 2 号 225-228 頁
- 10) 上田博美、鍋谷佳子 感染対策 心臓手術の患者管理 AtoZ HEART nursing 2004 年 17 卷 7 号 73-81 頁

3. 学会発表

- 1) 堀井菜緒子、秦節子、筑木明子、井本麻美、井口和江、前田正美 生体腎移植における腎提供者に対する術前看護援助の現状と考察－心理的側面から見た看護援助の見直し－ 第 37 回日本腎移植学会、2004 年
- 2) 小巻正泰、園寛子、三木秀宣、西井孝、菅野信彦 人工股関節置換術後における早期シャワー浴の臨床効果の検討 第 31 回日本股関節学会看護・リハ部門、2004 年

- 3) 島田成美 手術看護におけるリスクマネジメントの実際－手術部安全対策検討会と再発防止策実践までの一事例－ 西日本手術部学会. 2004 年
- 4) 井筒正子、宮脇澄恵、山本智美 転倒転落アセスメントスコアシートと看護師の直観の判断理由との関係 第 31 回日本脳神経看護研究学会. 2004 年
- 5) 後藤美紀 重症治療における経腸栄養の問題－食塩補充の検討－ 第 18 回日本静脈経腸栄養学会. 2004 年
- 6) 京力深穂 救急車同乗研修における実態調査 第 90 回近畿救急医学研究会看護師部会. 2004 年
- 7) 島袋正恵 看護記録内容の現状と看護師の認識調査 第 90 回近畿救急医学研究会看護師部会. 2004 年
- 8) 井上奈央、岩崎朋之、柿添真由美、長谷川利路 生体肝移植を受けた患児を持つ家族に対する看護介入－死の転帰をとった 1 症例を経験して－ 第 22 回日本肝移植研究会. 2004 年
- 9) 田墨惠子、入江由美子、岡本禎晃、住谷昌彦、広常秀人、恒藤暁、小笠原知恵、柴田政彦、川瀬一郎当院における緩和ケアチームの活動報告－活動開始後 3 ヶ月が経過して－ 第 9 回癌と QOL セミナー. 2004 年
- 10) 長坂正子、佐藤浩美、山田容子、坂東昌子 外照射を受ける患者がもつ放射線治療に対する認識の変化－放射線 放射線治療に関するオリエンテーション用紙による説明前後の変化－ 第 9 回癌と QOL セミナー. 2004 年
- 11) 田墨惠子、長谷川久巳 大学院 CNS コースでの学びとがん専門看護師としての実践 第 24 回日本看護科学学会. 2004 年
- 12) 福田祥子、神田真澄、田墨惠子、安藤昌代 セルフケア支援に注目した乳癌患者用化学療法ダイアリーの作成－成人看護 I－ 第 35 回日本看護学会. 2004 年
- 13) 福本まり子、小澤絵里、田墨惠子、安藤昌代 乳癌広背筋皮弁再建術患者用クリニカルパスの有用性－成人看護 I－ 第 35 回日本看護学会. 2004 年
- 14) 伊藤安子、田墨惠子、安藤昌代 乳癌術後患者の清拭に関する思い－成人看護 I－ 第 35 回日本看護学会. 2004 年
- 15) 日向裕子 医師と看護師の情報交換に関する認識の相違－看護管理－ 第 35 回日本看護学会. 2004 年
- 16) 木村澄子、岩崎朋之、三島彩子、柿添真由美、河上智香、藤原千恵子 手術目的で初めて入院する乳幼児をもつ両親の不安の差異－小児看護－ 第 35 回日本看護学会. 2004 年
- 17) 丸本早苗 医療スタッフ間におけるドレーン排液観察時の表現方法に関する実態 平成 16 年大阪府看護研究会. 2004 年
- 18) 姫野理恵、永松彩子、井口和江、前田正美 生理的変化と心理的影響から見た眼前フットケアの効果－ホットパックとマッサージの実施－ 平成 16 年大阪府看護研究会. 2004 年
- 19) 片山圭子 短期入院を繰り返す境界性人格障害患者に関するプライマリナースの役割意識変化－精神看護－ 第 35 回日本看護学会. 2004 年
- 20) 村上聖女 当院の重症未熟児室および新生児室における光環境の検討－Developmented Care の観点から－ 第 14 回日本新生児看護学会. 2004 年
- 21) 小川馨 心臓移植希望患者に対するレシピエントコードィネーターの役割 第 40 回日本移植学会総会. 2004 年
- 22) 久保田香、能芝範子、鹿島泰子 自発呼吸シュミレーターを用いた看護教育プログラム－グラフィックモニターを呼吸アセスメントに活用する－ 第 26 回日本呼吸療法医学会学術総会. 2004 年
- 23) 米谷良美 看護過程を支援する看護支援システムの構築－電子カルテ導入に向けて－ 第 10 回日本看護診断学会. 2004 年
- 24) 佐藤香 看護経験が及ぼす転倒・転落予防への臨床判断－ビデオによるアセスメント－ 第 31 回日本脳神経看護研究学会. 2004 年
- 25) 森恵子 看護記録に対する病棟看護師の経験年数別意識調査 第 31 回日本脳神経看護研究学会. 2004 年
- 26) 西野由紀子 排泄援助における患者の苦痛に及ぼす看護師の対応に関する実態調査 第 31 回日本脳神経看護研究学会. 2004 年
- 27) 早川友理、京力深穂、福田久美 不眠を訴える患者の睡眠を妨げる原因 第 6 回日本救急看護学会学術集会. 2004 年
- 28) 岩田幸代、塙田なおみ、赤根寿里、有馬美緒子、水谷綾子、梅下浩司、中田精三、向井克容、細野昇手術用ガウンの清潔は手術を通して維持されているか 第 26 回日本手術医学会誌. 2004 年
- 29) 原麻衣子、村上聖女、黒瀬泉 帝王切開後経腔分娩 (VBAC) における分娩所要時間と分娩予測の検討 大阪母性衛生学会学術集会. 2004 年
- 30) 今田恭子、吉岡キヨ子、河村有亜、長岡淳子、田中春美、矢田(橋本)美奈子、下屋浩一郎、村田雄二周産期医療における DV(ドメスティックバイオレンス)スクリーニングの取り組み 大阪母性衛生学会学術

- 集会. 2004 年
- 31) 佐藤恵梨佳、楠本ユキ、高岩さゆり、合田典子、奥田博之、山本尚武 体位と下腿循環の関連について
－皮膚血流・皮膚温の検討－ 第 45 回日本母性衛生学会総会学術集会. 2004 年
- 32) 谷川緑、杉浦圭子、有馬志津子、三上洋 看護学生の非喫煙継続への意思に関連する要因の検討 第 63 回日本公衆衛生学会総会. 2004 年
- 33) 武敦子、永井利三郎、増田有美 気管支喘息を持つ小学生の保護者へのアンケート調査－保護者の思いについて－ 第 51 回日本小児保健学会. 2004 年
- 34) 藤原優子 注入プログラム可能な CSII 機種変更にあたっての看護上の問題点 第 2 回近畿 CSII フォーラム. 2004 年
- 35) 藤原優子 フットケアの実践 日本看護・社会・政策学会 第 17 回研修会. 2004 年
- 36) 藤原優子 看護師が行う糖尿病患者のフットケア 京都透析 ASO 講演会. 2004 年
- 37) 藤原優子 糖尿病患者の Foot Care 第 8 回糖尿病と末梢循環障害研究会. 2004 年
- 38) 藤原優子 糖尿病足病変とフットケア 第 70 回 IIDES 糖尿病研究会. 2004 年
- 39) 片山千嘉、藤原優子、上田博美、岩橋博見、宮川潤一朗 PAID 日本語版の各項目と糖尿病治療・自己管理状況との関連 第 41 回日本糖尿病学会近畿地方会. 2004 年
- 40) 秋元環、柏木理恵子、倉恒弘彦 乗馬に伴う人の循環系・呼吸器系活動の変化（第 2 報） 第 15 回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2004 年
- 41) 秋元環、池田卓也、倉恒弘彦 馬場馬術競技による循環系の影響 ホルター心電図による検討 第 15 回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2004 年
- 42) 斎藤美紀子、久保田香 心臓移植後の患者管理 第 1 回日本レシピエント移植コーディネーター研修会. 2004 年
- 43) 斎藤美紀子、小川馨、久保田香、福岡富子、伊藤壽記、高原史郎、福島教偉、南正人、堂野恵三、白倉良太、松田暉 当院におけるレシピエントコーディネーターの現状と課題 第 40 回日本移植学会総会. 2004 年
- 44) 斎藤美紀子 第 13 回全国移植者スポーツ大会に参加して 近畿臍移植検討会. 2004 年
- 45) 小川馨、堂野恵三、梅下浩司、丸橋繁、斎藤美紀子、久保田香、門田守人 救命センターを中心とした急性肝不全患者の受け入れとレシピエントコーディネーターの役割 第 40 回日本移植学会総会. 2004 年
- 46) 久保田香、斎藤美紀子、福島教偉、松宮護郎、門田治、高島成二、堀正二、福岡富子、金倉謙、松田暉 心移植患者の服薬管理におけるレシピエントコーディネーターの役割 第 22 回日本心臓移植研究会学術集会. 2004 年

4. 輪番制研究

- 1) 堤裕子、砂山陽子、廣田幸代、識名和世 患者用クリティカルパス導入における患者の満足度調査(心臓血管外科・外科共通病棟) 2004 年
- 2) 谷口希江、小林薰、圓見千代 子宮内胎児死亡を経験した母親への看護介入の検討－看護師の戸惑い・関わりにおける意識調査と対策効果を通して－(産科・婦人科病棟) 2004 年
- 3) 川地文子、浅野優子、平田アサ子、松岡千恵子 カテールシングルユース方式を取り入れた気管内吸引マニュアルの作成(耳鼻咽喉科病棟) 2004 年
- 4) 井筒正子、宮脇澄恵、山本智美 神経疾患患者の転倒・転落予測に対する看護師の直観的判断理由(神経内科・脳卒中・皮膚科病棟) 2004 年
- 5) 植田真由美、丸山由美子、天野由美子、中土居智子 消化器外科患者用クリティカルパス使用における実態調査(消化器・呼吸器外科病棟) 2004 年
- 6) 影山智子、藤岡恵子、北畠知代子、井出紀世、佃順子 視力障害のある糖尿病患者にフットケアプログラムを導入して(眼科病棟) 2004 年
- 7) 吉村真貴、吉田佳代、芳田志寿江、森岡美香 観察項目の評価方法に関する当病棟での現状－観察スケール導入前後での比較－(小児科病棟) 2004 年
- 8) 藤本法子、松岡明子、大森淳子、岩瀬聰子 高次脳機能障害患者の転倒転落場面の分析－術後回復過程で転倒を繰り返した患者への転倒転落防止への援助－(脳神経外科病棟) 2004 年
- 9) 田中久美子、垣内智子、豊田みゆき、岩崎朋之 在宅中心静脈栄養法プロトコールの作成(小児外科病棟) 2004 年
- 10) 立川知恵、藤田洋子、池内友子 消防活動に関する知識の習得状況調査(放射線部) 2004 年

5. 3 年目研修研究

- 1) 藤川佳子 開腹術後創離開を起こした患者に対する看護ケアの実態と今後の看護介入の検討(産科・婦人科病棟) 2004 年
- 2) 福本まり子 乳癌広背筋皮弁再建術患者用クリニカ

- ルパスの有用性(乳腺内分泌外科・形成外科病棟)
2004年
- 3) 天野裕子 術後、回復室入室患者が不快と感じる病床環境 ー物理的環境因子に焦点をあててー(泌尿器科病棟) 2004年
 - 4) 石井あゆ子 術後患者に対する含漱方法の改善 ーより爽快感の得られる方法を目指してー(乳腺内分泌外科・形成外科病棟) 2004年
 - 5) 北野良子 術後創処置に対する患者の意識調査(消化器外科病棟) 2004年
 - 6) 片山千嘉 糖尿病患者の感情負担度と自己管理実施状況の調査(内分泌・免疫アレルギー内科病棟) 2004年
 - 7) 木下真里 インスリン自己注射導入が困難な要因の一考察(内分泌・免疫アレルギー内科病棟) 2004年
 - 8) 荒岡広子 化学療法を繰り返し受けている婦人科がん患者の副作用に対する自己管理方法の実態(産科・婦人科病棟) 2004年
 - 9) 福田祥子 乳がん患者用化学療法ダイアリーの効果ーセルフケア支援に注目してー(乳腺内分泌外科・形成外科病棟) 2004年
 - 10) 後藤美樹 肝癌術後で動注化学療法を併用したインターフェロン療法を受ける患者向けパンフレットの作成と内容の検討(消化器外科病棟) 2004年
 - 11) 平野恵美 処置室で末梢ルート確保を受ける子どもの援助に関する看護師と親の意識(小児外科病棟) 2004年
 - 12) 姫野理恵 フットケアの工夫により睡眠へのケア向上を試みて(泌尿器科病棟) 2004年
 - 13) 西野由紀子 排泄援助における患者の苦痛に及ぼす看護師の対応に関する実態調査(脳神経外科病棟) 2004年
 - 14) 寺田好美 尿道カテーテル留置中の膀胱刺激症状に対する音楽の効果(泌尿器科病棟) 2004年
 - 15) 平井里依子 造血幹細胞移植患者に対する口腔内観察表の有効性の検討(特殊診断治療部) 2004年
 - 16) 重親加奈子 放射線療法における有害事象に対する実際の看護介入と患者ニーズとのズレ(放射線科・麻酔科・総合診療部・アイソトープ病棟) 2004年
 - 17) 長坂正子 外照射を受ける患者がもつ放射線治療に対する認識の変化 ー放射線・放射線治療に関するオリエンテーション用紙導入前後の比較ー(放射線科・麻酔科・総合診療部・アイソトープ病棟) 2004年
 - 18) 吉田麻美 内診室の改善による精神的苦痛の緩和効果(産科・婦人科病棟) 2004年
 - 19) 伊藤安子 乳がん術後患者の清拭に関する思い ーボディイメージに焦点を当ててー(乳腺内分泌外科・形成外科病棟) 2004年
 - 20) 井本麻美 インフォームドコンセント同席時における看護師の役割についての検討(泌尿器科病棟) 2004年
 - 21) 片岡絵里 小児科病棟における同胞面会のあり方についての検討(小児外科病棟) 2004年
 - 22) 山名田陽子 当病棟における医療材料の使用数と価格に関する医療者の認識と実態(心臓血管外科・外科共通病棟) 2004年
 - 23) 藤真由美 無菌室における声掛けの音量と距離の関係(血液腫瘍内科病棟) 2004年
 - 24) 森恵子 看護記録に対する病棟看護師の意識調査(脳神経外科病棟) 2004年
 - 25) 吉田佳代 自己表現できない小児の観察事項の表記方法の実態(小児科病棟) 2004年
 - 26) 山本可奈子 看護師の服薬指導に対する認識および指導と薬剤師との連携の実際(心臓血管外科・外科共通病棟) 2004年
 - 27) 大西郁恵 聴診器の汚染度の実態調査(血液腫瘍内科病棟) 2004年
 - 28) 梶原志津江 易感染患児の付き添い家族へのグリッターバグを用いた手洗い指導の効果(小児科病棟) 2004年
 - 29) 日高由理子 免疫患者の足病変事例について(内分泌・免疫アレルギー内科病棟) 2004年
 - 30) 茨木美千子 当病棟における内服インシデントの実態(乳腺内分泌外科・形成外科病棟) 2004年
 - 31) 佐藤香 看護経験が及ぼす転倒・転落予防への臨床判断 ービデオによるアセスメントー(脳神経外科病棟) 2004年
 - 32) 高岡寿江 看護師に対するデスエデュケーションの必要性の検討(消化器内科病棟) 2004年
 - 33) 李光成 手術室外回り看護業務学習ビデオの作成(手術部) 2004年
 - 34) 金澤千智 手術操作により発生する粉塵の実態と医療従事者の防御意識(手術部) 2004年
 - 35) 日向裕子 医師と看護師の連携を阻害している要因の検討(血液腫瘍内科病棟) 2004年

- 36) 田口睦美 業務内容を変更する時の看護師の心理
－上肢から的心臓カテーテルの移送方法をベッドか
ら車椅子へ－（循環器・腎臓内科病棟） 2004 年
- 37) 新久美 癌患者家族の抱えるストレスについて（消
化器内科病棟） 2004 年
- 38) 久野井悦子 下咽頭悪性腫瘍より術後無喉頭者とな
った患者の障害受容過程について（耳鼻咽喉科病棟）
2004 年
- 39) 城地杏奈 化学療法を受ける思春期悪性腫瘍患者の
ストレスコーピング行動の検討（整形外科病棟）
2004 年
- 40) 織田美幸 家族性大腸繊維腫瘍 (FAP) からデスマイ
ド腫瘍を合併した若年成人の入院過程－生活の変
化に着目して－（消化器・呼吸器外科病棟） 2004 年
- 41) 加藤園美 強い不安を訴える患者の不安内容と精神
的援助－生体肝移植レシピエントの一例を通しての
研究－（消化器外科病棟） 2004 年
- 42) 木村直美 妊婦の出産準備行動に対する取り組み状
況と取り組みを阻害する要因（分娩育児部） 2004 年
- 43) 藤岡恵子 糖尿病網膜症患者のフットケアへの看護
介入の現状と問題点（眼科病棟） 2004 年
- 44) 影山智子 糖尿病網膜症患者のフットケアにおける
問題点－自己効力を低下させる要因とは－（眼科
病棟） 2004 年
- 45) 原田雅子 食道がん手術患者が抱く術前のイメージ
と術後状態のギャップからみた術前オリエンテーシ
ョンの検討（消化器外科病棟） 2004 年
- 46) 中井真美 禁煙を実行できない患者の保健行動をも
とにした禁煙指導方法の検討（循環器・腎臓内科病
棟） 2004 年
- 47) 平田恵 頭頸部悪性腫瘍患者の療養環境の改善－
臭気の観点から－（耳鼻咽喉科病棟） 2004 年
- 48) 福田倫子 筋肉注射による痛みの緩和方法（消化器
内科病棟） 2004 年
- 49) 羽立知里 舌癌術後の嚥下・摂食障害患者に対する
嚥下訓練食の検討（耳鼻咽喉科病棟） 2004 年
- 50) 石川明美 外来化学療法へ移行する患者への身体
的・精神的ケアの実態（老年高血圧・呼吸器内科病
棟） 2004 年
- 51) 沼森恭子 眠剤に対する看護師の意識調査（整形外
科病棟） 2004 年
- 52) 丸本早苗 ドレーン排液観察時の表現方法に関する
実態（心臓血管外科・外科共通病棟） 2004 年
- 53) 二位希美 術後患者における安楽な洗髪体位の検討
（心臓血管外科・外科共通病棟） 2004 年
- 54) 池内真奈美 神経内科脳卒中科院における
アセスメント用紙使用の有効性（神経内科・脳卒中・
皮膚科病棟） 2004 年
- 55) 村上聖女 重症未熟児室および新生児室における光
環境の検討－Developmental Care の観点から－
（分娩育児部） 2004 年
- 56) 大土井栄子 全身麻酔科で手術を受ける患者の潜
在的ニーズ（手術部） 2004 年
- 57) 塚倉千知 側臥位手術で使用する腋窩枕の形態が上
腕動脈に及ぼす影響－超音波血流ドッパーを
用いて－（手術部） 2004 年
- 58) 新開裕幸 初療待機中の家族援助マニュアル使用に
よる援助内容の検討（高度救命救急センター） 2004
年
- 59) 早川友里 当救命センター内 ICU で不眠を訴える患
者の睡眠を妨げる要因の分析（高度救命救急センタ
ー） 2004 年
- 60) 野田かおり 顆間固定患者における効果的なウオ
ーターピック使用方法の検討（歯学部） 2004 年
- 61) 岩路佳代子 骨きり術手術前後の不安の変化（歯学
部） 2004 年